

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 2 月 23 日

要請番号(JL 033 - 09 - B - 15)		調査者名: 鈴木 大介		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期 JOCV/SV 日系/短期等
中華人民共和国	職種 日本語教師 (コード 6852) 指導科目	○新規 ●交替 2 代目	●2 年 ○1 年 ○ヶ月	1 22 / 1
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			2 22 / 3 3 22 / 2
年 月 から				
プログラム番号・名 0330000000007 プロジェクト名 両国民の直接交流支援				
配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 内蒙古自治区科学技術庁 (受入機関名)(英語) Neimenggu Science and Technology Department			
	2) 配属先名 (日本語) 赤峰学院 (英語) Chifeng University			
	3) 任地 内蒙古自治区赤峰市 首都(北京)から 北東 方向 450 Km 主要都市(北京)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 1 時間)			
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 2003年創立の4年制大学。教職員約1350名、学生約8500名が在籍し、広大なキャンパスの中に19の学部・学院等の建物を有する。 実際に教鞭を取るのは2008年9月にスタートした外国語学院日本語科。			
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 外国語学院日本語科はスタートして間もないこともあり、日本人日本語教師は不在。よって学生が日本人と交流する機会もほとんどない状況。 そのような中で、日本文化を紹介し、学生の日本語能力の向上はもちろん、教師陣の日本語教授法を向上させることが求められている。			
	2) 期待される具体的業務内容 1. 日本語会話・作文の授業(週8~12コマ程度) 2. 教師陣の日本語教授法のレベルアップ 3. 日本紹介講座の開設の企画・運営 その他、課外での学生との交流を通じた日本文化の紹介など			
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン プロジェクター CDプレイヤー など			
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ■学生: 18~24歳(ゼロ初級が大半) ■教師: 中国人日本語教師5名	5) 業務使用言語 ● 中国語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (V^N:) □ (V^N:)	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 性別理由: 学歴理由: 業務上不可欠な条件 経歴理由: 理由: 業務上不可欠な条件 理由:			
活動用交通手段の必要性		研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車				×
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)				
概地況	気候(亞寒帯気候) 気温(-15-35℃位)	電氣(☑安定 □不安定 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)	
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)				



平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日育 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 4 月 13 日

要請番号(JL 033 - 09 - B - 16)

調査者名: 鈴木 大介、土居 健市

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
中華人民共和国	職種 日本語教師 (コード 6852) 指導科目	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			2	22 / 3
				3	22 / 2
					年 月 日から

プログラム番号・名 0330000000007 プロジェクト名
 両国民の直接交流支援

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 黒龍江省科学技術庁 (受入機関名)(英語) Heilongjiang Science and Technology Department
	2) 配属先名 (日本語) ハルビン師範大学 (英語) Herbin Normal University
	3) 任地 黒龍江省ハルビン市 首都(北京)から 北東 方向 1250 Km 主要都市(ハルビン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1951年設立の大学。教職員約3500名、学生4万1千人が在籍し、東京ドーム約105個分という広大なキャンパスの中に、25学部・学院や博物館、図書館(350万冊)等の建物を有する。 なお、黒龍江省は中国の東北部に位置し、歴史的経緯から日本への関心が高く日本語教育及び日本との交流が盛んな地域のひとつである。(http://www.hrbnu.edu.cn/2009/)

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 日本語学科は1978年に開設。省政府より重点学科に指定されており、約1000人の学生が在籍中。学生数が多いこと及び同年代の日本人日本語教師がいないことから、隊員には学生に対しての会話・作文の指導はもちろん、現代日本の文化や流行などを伝え、さらには、学生と一緒に「日本祭り」などのイベントの企画・参加ができる人材が求められている。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. 日本語会話。作文の授業 2. 中国人日本語教師への勉強会を通じた日本語教授法の指導 3. 学内の日本文化・日本語関係イベント(スピーチコンテスト・日本語コーナーなど)の企画・開催 →学生と一緒に活動することが求められている	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コピー機・パソコン・マルチメディア教室 など	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 学生はゼロ初級からの開始。 在籍数約1000名。卒業時に日本語能力試験1級取得が目標。 中国人日本語教師は25名・日本人教師2名	5) 業務使用言語 ● 中国語 () ○ ()

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	・学歴 大卒	性別理由: 学歴理由:業務上不可欠な条件 経歴理由:
	・日本語教授法	理由:業務上不可欠な条件 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地域 気候(亜寒帯気候) 気温(-25~33℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 20 年 4 月 14 日

要請番号(JL 033 - 09- B - 17)

調査者名: 古川 寛

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
中華人民共和国	職種 日本語教師 (コード 6852) 指導科目	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	22 / 1
	2			22 / 3	
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			3	22 / 2

プログラム番号・名 0330000000007 プロジェクト名
 両国民の直接交流支援

配属概要	1) 受入省庁名(日本語) 大連市科学技術局 (受入機関名)(英語) Dalian Ministry of Science and Technology
	2) 配属先名 (日本語) 大連市開発区教育局 (英語) dalian shi kaifa qu education department
	3) 任地 遼寧省大連市開発区 首都(北京)から 南東 方向 450 Km 主要都市(大連)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 大連市は7つの区と3つの県レベルの市、および1つの県によって構成されている。7つの区が大連市の中核をなしているが、開発区はその7つの区の中の1つの区。教育局は開発区の教育を司っている。予算は公表していない。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 中国東北部では、中等教育(日本の中学と高校にあたる)における日本語教育が盛んであるが、近年になって日本語から英語へのシフトが進んでおり、全般的に日本語教育は衰退傾向にある。まず、初等中学(日本の中学にあたる)の日本語教育学習者が減り、その卒業者が高級中学(日本の高校にあたる)に進んだ段階で、高級中学の日本語学習者が減るパターンが増えている。このような状況下、大連市では、初級中学等における第二外国語としての日本語教育を普及させることを計画、教科書作成や研修活動を進めている。この第二外国語としての日本語教育普及計画推進のために青年海外協力隊日本語教師要請がなされた。		
	2) 期待される具体的業務内容 大連市は初等中学等における第二外国語日本語教育を進める計画を行なっている。授業は日本語レベルの低い他教科の教員なども動員して行なわれており、教員養成が課題となっている。 ・隊員は開発区教育局に籍を置き、開発区内の小中学校を巡回指導する。巡回指導では実際に日本語の授業を受け持ちながら、中国人日本語教師への授業指導を行なう。 ・また、大連市教育局が進めている日本語教育普及計画推進のための各種協力活動をおこなうこともある。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コンピュータ、プロジェクター等	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教育局のスタッフ。女性3名。大卒。40代。日本語教育従事経験約20年。	5) 業務使用言語 ● 中国語 () ○ ()

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由
	性別理由:
	・学歴 大卒 ・経験 実務経験 2年以上 ・日本語教授法
	学歴理由:業務上必要な最低条件 経験理由:巡回指導業務を求められているため 理由:業務上不可欠な要件 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概況	気候(亜寒帯気候) 気温(-20 - 35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
地域	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 8 日

要請番号(JL 045 - 09 - B - 07)

調査者名: 松本 智加子

国名	職種/指導科目	区分	派遣希望期間	派遣希望時期		
モンゴル	職種 日本語教師 (コード 6852)	(長期のみ)	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目	○ 新規		1	22 / 1	年 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor	● 交替		2	22 / 2	
指導科目(英)	2 代目	3	22 / 3			

プログラム番号・名 0450000000003 プロジェクト名
 基礎教育・高等教育及び職業訓練等の充実を通じた人材育成支援プログラム

配属概要	1) 受入省庁名(日本語) 教育文化科学省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education, Culture and Science of Mongolia
	2) 配属先名 (日本語) 工業美術学校 (英語) Industrial and Art School
	3) 任地 ウランバートル 首都(ウランバートル)から 北 方向 0 Km 主要都市(ウランバートル)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1966年設立。3学部(専門教育、デザイン技法、基礎教育)34学科を持つ。学生数1800名、教員数99名の学校で、義務教育を終えた学生が通う3年制の専門学校(職業訓練校)的な位置づけである。年間予算は約1億3千万円。過去にはJOCV(婦人子供服、美容師等)、SV(自動車整備、経営)が活動しており、現在、コンピュータ技術および日本語教師JOCVが活動中。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国では市場経済化後、様々な分野の技術発展とともに外国語を学ぶ必要性が年々高まっている。本校においては2001年に開講した観光科に日本語の授業を取り入れており、また今後は英語、韓国語にも力を入れていく方針がある。近年、観光目的で来蒙する日本人が増えており、観光客に対するサービスや接客法を習得する必要性が高まっているが、現地日本語教師のみでは観光日本語教育の質を向上させるには不十分である。現在、2008年3月赴任のJOCVは、日本語クラス担当の他、カリキュラム作成やカウンターパートの日本語教授法向上に係る活動を行っているが、今後は観光日本語教育の向上に向けた支援が必要である。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. 観光科にて、現地日本語教師とともに、基礎的な日本語・観光日本語を教える。 2. 現地日本語教師の育成のため、教師に対し教材・教案作成、教授法などを指導する。 3. 日本語の文化や習慣などを紹介するイベントを行う。 4. 教室整備や教材調達を行い、学習環境の整備をする。 5. モンゴル国内での日本とかかわりがある機関と連携協力する。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教室で使用されている備品全て(テレビ、CDプレイヤー、DVDプレイヤー他)	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 副校長 40代、学科部長 40代 カウンターパート: 現地日本語教師(30代、女性、実務経験6年)	5) 業務使用言語 ● モンゴル語 () ○ ()

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	・学歴 短大卒	学歴理由: 業務上必要であるため
	・経歴 実務経験 2年以上	経歴理由: 業務上必要であるため
	・日本語教授法	理由: 業務上必要であるため
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○単輪 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(大陸性気候) 気温(-30~+30℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)		水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21年 8月 11日

要請番号(JL 045 - 09 - B - 16)

調査者名: 松本智加子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
モンゴル	職種 日本語教師 (コード 6852)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	22 / 1
	指導科目			2	22 / 2
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			3	22 / 3

プログラム番号・名 0450000000003 プロジェクト名
 基礎教育・高等教育及び職業訓練等の充実を通じた人材育成

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) ウランバートル市 (受入機関名)(英語) Ulaanbaatar City
	2) 配属先名 (日本語) 教育局 (英語) Department of Education
	3) 任地 ウランバートル 首都(ウランバートル)から 北 方向 0 Km 主要都市(ウランバートル)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ウランバートル市内の幼稚園、小中高等学校を管轄する行政機関。基礎教育の水準を高めるために、教師やカリキュラムの質の向上等に携わる。スタッフは30名、年間予算は約1億2千万円。現在、長期SV1名、長期JV2名(いずれも日本語教育分野)が活動を行っている。現在、日本以外からのボランティア受け入れ実績はない。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当国に対してはこれまで50名近くの日本語教師ボランティアが個別の学校に派遣され、日本語教育の質の向上や現地日本語教師の育成に寄与してきた。しかし、近年日本語の需要が増しつつも教師の定着率が低いという現状を踏まえ、一部を除き巡回指導型に移行している。現在教育局に派遣中のボランティアは後述の業務を担当しているが、各学校に対して割ける時間が限られているため効果が限定的であり、巡回指導の内容を充実させるために、今回新たなボランティアの要請となった。		
	2) 期待される具体的業務内容 ウランバートル市教育局にて、下記①～③の活動を中心とし、また現在活動中の日本語教師ボランティアと協力・分担し、その他④～⑦の業務を行う。 ①市内各初中等教育機関への巡回指導、②モンゴル人日本語教師を対象とした教育局での勉強会(月2回程度)、③教育局管轄の日本語教育を行う初中等機関に対する監査業務の補助、④教育局内日本語図書館の管理・運営 ⑤日本語スタンダード、カリキュラム策定、⑥イベント(夏休みこどもキャンプ、オリンピアド等)の企画・運営・評価、⑦在モンゴル日本国大使館、モンゴル日本センターとの連携・情報共有		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ラジカセ等音響機器、他		

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
	・学歴 大卒	学歴理由: 大卒教師に対して指導するため
	・経歴 実務経験 3年以上	経歴理由: 業務上不可欠
	・日本語教授法	理由: 業務上不可欠

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(大陸性気候) 気温(-30 ~ 30℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 2 日

要請番号(JL 054 - 09 - B - 01)

調査者名: 矢野 史俊

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
インド	職種 日本語教師 (コード 6852) 指導科目	○新規 ◎交替 2 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	22 / 1
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			2	22 / 2
				3	22 / 3
				年 月	から

プログラム番号・名 _____ プロジェクト名 _____

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 人的資源開発省 (受入機関名)(英語) Ministry of Human Resource Development
	2) 配属先名 (日本語) ネルー大学言語・文学及び文化研究学部日本語・韓国語及び北東アジア研究科 (英語) Jawaharlal Nehru University
	3) 任地 デリー 首都(デリー)から 南 方向 0 Km 主要都市(デリー)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1972年設立の私立大学院大学。10の学部から構成され全体の学生数は約5000人。少人数制の教育方針を掲げている。日本語教育の開始は1972年。大学院大学であるが言語系学部のみ学士コース(3年コース)が設置されており、配属先は、日本語で学士から博士までの学位が取得可能なインド日本語教育の中心機関。日本語専攻の学生は全体で100名程度(学士90名、その他10名)。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先はインドにおいて日本語での学位取得が可能な数少ない大学(3校のみ)の一つであり、日本語教育に携わる多くの人材を輩出しているが、これまでネイティブ講師の支援を受ける機会に乏しく、特に学士コースについて、まとまった期間ネイティブ講師から総合的支援を受けることにより、学生のさらなる日本語能力の強化を求められている。また、ネイティブ講師の指導により、学生の学習意欲及び日本への興味の増進が高まることも期待されている。2009年秋を予定に同配属先に対する初代隊員として短期隊員を派遣し協力の方向性を明確化する方針であり、本要請はその短期隊員の活動を引き継ぎ協力を本格化するための位置づけ。		
	2) 期待される具体的業務内容 ・ 主として学士コース学生(3年コース: 0初級~中級)の日本語能力強化のための授業の実施し、コースの改善に協力する。 ・ 若手同僚講師の日本語能力・日本語教授力向上を支援する。 ・ 日本語関係のイベントを支援する。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 日本語(国際学友会)、中級日本語(東京外国語大学)、外国学生用日本語教科書(早稲田大学)。コピー機、LL教室(コンピュータ、DVD使用可)、マルチメディアプロジェクタ(AV機器担当専門職員配置有)。		
要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 50代男性2名(教授) 50代女性4名(教授3、準教授1) 30代女性2名(準教授) 20代女性1名(準教授)	5) 業務使用言語 ◎ 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	・学歴 大卒	性別理由:
	・経歴 実務経験 2年以上	学歴理由: 配属先の意向による 経歴理由: コース運営に不可欠
	・日本語教授法	理由: コース運営に不可欠 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(サバナ気候) 気温(0~45℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 21 年 7 月 2 日

要請番号(JL 054 - 09- B - 02)

調査者名: 矢野 史俊

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
インド	職種 日本語教師 (コード 6852)	○ 新規 ● 交替 2 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ 月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	22 / 2	年 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor			2	22 / 3	
指導科目(英)	3	/				
プログラム番号・名		プロジェクト名				

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 人的資源開発省 (受入機関名)(英語) Ministry of Human Resource Development
	2) 配属先名 (日本語) アンナ大学英語学科 (英語) Department of English, Anna University
	3) 任地 デリー 首都(デリー)から 南 方向 1700 Km 主要都市(チェンナイ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同大学は、学生数1万人を超える公立の工科大学。工科大学だが学生の約4割は女子学生である。1978年に、4つの工 科系カレッジが統合し現在のアンナ大学となった経緯がある。特に海外の大学、研究機関との連携には力を入れており、 学内にはCentre for International Affairsを設立している。英語学科の管轄下に独、仏、日本語のコースが学部生のオブ ション科目として設けられている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 前任者である初代隊員が、従来から実施されていた学部生対象の0初級コースの内容拡大と質の改善の必要性を働きか けた結果、現在同コースがJLPT合格を目指した延べ150時間のコース(従来は100時間)に拡大され、現地人講師ととも に2名体制で教える環境が整備されるなど改善が見られている。本要請は、この流れを踏襲し、同コースの運営をより確固 たるものにすると共に、同僚講師の日本語能力・教授能力の向上に協力することを目的とし提出された。一方、大学院 博士課程の学生等についても日本語を学ぶ機会を提供し、日本の大学、研究機関との連携強化の基盤づくりへの貢献も 期待されている。		
	2) 期待される具体的業務内容 ・ 学部生対象の日本語コース(0初級)の授業を同僚講師と共に実施し、コースの質の改善、学生の日本語能 力向上、同僚講師の日本語能力・日本語教授能力の向上に協力する。 ・ 学生の学習意欲増進を図るための日本文化紹介を行う。 ・ 効果的授業実施のための教材の紹介、作成を行う。 ・ 日本語能力検定試験対策への協力を行う。 ・ 博士課程学生等配属先の学生に対する日本語の授業を大学の要請に基づき実施する。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教科書は「みんなの日本語初級I」を利用。その他みんなの日本語関連教材で、書いて覚える文型練習帳、書いて 覚える漢字練習帳、B4サイズ絵教材、聴解タスク25等が利用可。マルチメディアプロジェクター利用可。		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層) 及び指導対象者の技術レベル 女性1名 臨時講師 30代	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	・学歴 大卒	性別理由:
	・経験 実務経験	学歴理由:配属先の意向による
	・日本語教授法	経験理由:コース運営に不可欠 理由:コース運営に不可欠 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概 況	気候(サバナ気候) 気温(0~45℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
地 況	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 17 日

調査者名: 矢野 史俊

要請番号(JL 054 - 09 - B - 03)

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
インド	職種 日本語教師 (コード 6852)	○ 新規 ● 交替 5 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	22 / 3	年 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor			2	/	
指導科目(英)	3	/				
プログラム番号・名		プロジェクト名				

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 人的資源開発省 (受入機関名)(英語) Ministry of Human Resource Development
	2)配属先名 (日本語) デリーパブリックスクール協会 (英語) Delhi Public School Society (DPS)
	3)任地 デリー 首都(デリー)から 南 方向 0 Km 主要都市(デリー)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同協会(DPS)は13カ国に146の中等学校を有する私立の非営利組織である。インド政府が日本語を中等教育の正式科目に認定したことに伴い、2006年よりいち早く日本語教育を導入した。現在、日本語教育が導入されている学校は12校であるが、今後もDPS内で日本語教師を育成し、日本語教育を拡大していく意向をもっており、今後のインドでの中等教育における日本語教育の発展に大きく寄与できる組織である。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同協会では2006年4月から現在まで、隊員がDPS教師13名(1期・2期合計)の日本語教師育成(JLPT3級レベル)、巡回指導による日本語コースの運営改善、日本文化の紹介を主たる内容として積極的に活動し、その成果が大きく評価されている。現在ではこれまで育成してきた日本語教師の中から、実際に日本語の授業を担当する者もでており、隊員への協力要請は、教師育成の段階から教室レベルでの支援へと変わってきた。本要請は、DPSの拠点校のひとつであるバサントクンジ校を中心に周辺DPS校への巡回指導も行い、DPS日本語教師の能力向上及び日本語コース運営の強化を目的としている。
	2)期待される具体的業務内容 ・拠点校及び巡回指導先校で同僚教師とともに日本語の授業を実施し、授業の改善に協力する ・生徒に日本事情、日本文化を紹介し日本に対する理解と日本語学習意欲の増進を図る ・他のDPS拠点校配属の隊員や現地人教師と協力し、日本語及び日本語教授能力の向上のための研修を支援する ・DPS内での日本語教師のネットワーク作りの支援を行う ・学内での日本に関するイベント等の企画、運営を支援する

要	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教科書は国際交流基がインド政府を支援して作成された教科書「うめ」(6年生用)、「もも」(7年生用)、「さくら」(8年生用)を利用。9年生、10年生には「みんなの日本語」を利用。コピー機、パソコン利用可		
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 40代女性 非常勤(JLPT3級) 20代女性 常勤(JLPT3級、JOCV研修1期生) 20代女性 常勤(JOCV研修2期生) *巡回指導先教師(JLPT4級~3級)	5)業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	・学歴 短大卒	性別理由:
	・経歴 実務経歴 2年以上	学歴理由:配属先の意向による
	・日本語教授法	経歴理由:コース運営に不可欠 理由:コース運営に不可欠
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(サバナ気候) 気温(0~45℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
----------	--

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 8 月 7 日

要請番号(JL 054 - 09 - B - 04)

調査者名: 矢野 史俊

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
インド	職種 日本語教師 (コード 6852)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	22 / 1	年 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor			2	22 / 2	
指導科目(英)	3	/				

プログラム番号・名 _____ プロジェクト名 _____

1) 受入省庁名(日本語) 人的資源開発省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Human Resource Development

2) 配属先名 (日本語) デリーパブリックスクール協会
 (英語) Delhi Public School Society (DPS)

3) 任地 デリー
 首都(デリー)から 南東 方向 0 Km
 主要都市(デリー)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 同協会(DPS)は13カ国に146の中等学校を有する私立の非営利組織である。インド政府が日本語を中等教育の正式科目に認定したことに伴い、2006年よりいち早く日本語教育を導入した。現在、日本語教育が導入されている学校は12校であるが、今後もDPS内で日本語教師を育成し、日本語教育を拡大していく意向をもっており、今後のインドでの中等教育における日本語教育の発展に大きく寄与できる組織である。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 同協会では2006年4月から現在まで、隊員がDPS教師13名(1期・2期合計)の日本語教師育成(JLPT3級レベル)、巡回指導による日本語コースの運営改善、日本文化の紹介を主たる内容として積極的に活動し、その成果が大きく評価されている。現在ではこれまで育成してきた日本語教師の中から、実際に日本語の授業を担当する者もでてきており、隊員への協力要請は教師育成の段階から教室レベルでの支援に変わってきた。本要請は、DPSの拠点校のひとつであるマトゥーラロード校を中心に巡回指導も行い、DPS日本語教師の能力向上及び日本語コース運営の強化を目的として提出された。

2) 期待される具体的業務内容
 ・拠点校及び巡回指導先で現地人教師とともに日本語の授業を実施し、授業の改善に協力する
 ・生徒に日本事情、日本文化を紹介し日本に対する理解と日本語学習意欲の増進を図る
 ・他のDPS拠点校配属の隊員や現地人教師と協力し、日本語及び日本語教授能力の向上のための研修を支援する
 ・DPS内での日本語教師のネットワーク作りの支援を行う
 ・学内での日本に関するイベント等の企画、運営を支援する

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 教科書は国際交流基金がインド政府を支援して作成された教科書「うめ」(6年生用)、「もも」(7年生用)、「さくら」(8年生用)を利用。9、10年生には「みんなの日本語」を利用。コピー機、パソコン利用

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 拠点校同僚3名 40代女性 常勤(JLPT2級)、40代女性 常勤(JLPT3級、JOCV研修1期生)、30代女性 常勤(JLPT3級、JOCV研修2期生)
 巡回指導先教師(JLPT4級~3級)

5) 業務使用言語
 ● 英語
 ()
 ○ ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル:)
 (レベル:)

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由: _____
 学歴理由: 教師として必要
 経歴理由: 日本語授業の運営のため必須
 理由: 日本語授業、同僚教師への助言のため必須
 理由: _____

・学歴 短大卒
 ・経歴 実務経験 2年以上
 ・日本語教授法

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概況 気候(サバナ気候) 気温(0°C~45°C 位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21年 8月 7日

要請番号(JL 054 - 09 - B - 05)

調査者名: 矢野 史俊

国名	職種/指導科目 (コード 6852)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
インド	職種 日本語教師	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1
	指導科目			2	22 / 2
	職種(英) Japanese Language Instructor			3	/
	指導科目(英)				年 月 から

プログラム番号・名 プロジェクト名

配属先概要

1) 受入省庁名(日本語) 人的資源開発省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Human Resource Development

2) 配属先名 (日本語) デリーパブリックスクール協会
 (英語) Delhi Public School Society (DPS)

3) 任地 ハリヤナ州 パニパット
 首都(デリー)から 北 方向 100 Km
 主要都市(デリー)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 当協会(DPS)は13カ国に146の中等学校を有する私立の非営利組織である。インド政府が日本語を中等教育の正式科目に認定したことに伴い、2006年よりいち早く日本語教育を導入した。現在、日本語教育が導入されている学校は12校であるが、今後もDPS内で日本語教師を育成し、日本語教育を拡大していく意向をもっており、今後のインドでの中等教育における日本語教育の発展に大きく寄与できる組織である。

要請概要

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 同協会では2006年4月から現在まで、隊員がDPS教師13名(1期・2期合計)の日本語教師育成(JLPT3級レベル)、巡回指導による日本語コースの運営改善、日本文化の紹介を主たる内容として積極的に活動し、その成果が大きく評価されている。現在ではこれまで育成をしてきた日本語教師の中から、実際に日本語の授業を担当する者もできており、隊員への協力要請は教師育成の段階から教室レベルでの支援に変わってきた。本要請は、DPSの拠点校のひとつであるパニパット校を中心に巡回指導も行い、DPS日本語教師の能力向上及び日本語コース運営の強化を目的として提出された。

2) 期待される具体的業務内容

- ・拠点校及び巡回指導先で現地人教師と共に日本語の授業を実施し、授業の改善に協力する
- ・生徒に日本事情、日本文化を紹介し日本に対する理解と日本語学習意欲の増進を図る
- ・他のDPS拠点校配属の隊員や現地人教師と協力し、日本語及び日本語教授能力の向上を支援する
- ・DPS内での日本語教師のネットワーク作りの支援を行う
- ・学内での日本に関するイベント等の企画、運営を支援する

要

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 教科書は国際交流基金がインド政府を支援して作成された教科書「うめ」(6年生用)、「もも」(7年生用)、「さくら」(8年生用)を利用。9、10年生には「みんなの日本語」を利用予定。コピー機、LL教室有

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 拠点校同僚1名: 30代女性 経験3年、常勤教師(社会科兼任)、JLPT3級、JOCV研修1期生
 *巡回指導校の教師(JLPT4級~3級程度)

5) 業務使用言語
 ● 英語
 ()
 ○ ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル:)
 (レベル:)

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由: _____
 学歴理由: 教師として必要
 経歴理由: 日本語授業の運営のため必須
 理由: 日本語授業、同僚教師への助言のため必須
 理由: _____

活動用交通手段の必要性 研修等 形態 現職教員特別参加制度

○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車 x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概況
 気候(サバナ気候) 気温(0℃~45℃℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 8 月 10 日

要請番号(JL 227 - 09 - B - 08)

調査者名:猪熊 陽子

国名	職種/指導科目 (コード 6852)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
エルサルバドル	職種 日本語教師 指導科目	○新規 ●交替 13 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 2
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			2	22 / 3
				3	/

プログラム番号・名 エルサルバドル その他プログラム
 プロジェクト名

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) エルサルバドル国立大学 (受入機関名)(英語) National University of El Salvador
	2) 配属先名 (日本語) エルサルバドル国立大学人文科学部言語学科 (英語) National University of El Salvador
	3) 任地 サンサルバドル県サンサルバドル市 首都(サンサルバドル)から 北西 方向 0 Km 主要都市(サンサルバドル)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 当国唯一の国立総合大学で、学生数約3万人。人文科学部に含まれる言語学科の在籍学生数は1500名、教員42名。英語、フランス語、日本語、マンダリン語、韓国語のコースがあるが、単位制のクラスを持つのは英語、フランス語、日本語のみ。同大学にはこれまで日本語教師のほか、陶磁器、視聴覚教育で隊員派遣を行っている。日本語教師隊員は1995年に派遣が始まり、現在2名の隊員(19/4、20/2)が活動中。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同大学は当国で日本語教育を行っている数少ない機関の中で最大の機関であり、現在言語学科生対象単位制クラスと、一般社会人向け公開講座合わせて5クラス、計150名程度の受講生を抱える。大学主催のスピーチコンテストや日本文化紹介行事が毎年行われ、日本や日本文化に対する国内の関心が高まっている。10年以上にわたり隊員派遣を行ってきたこともあり、現地教師も徐々に育って来てはいるが、それらの人材が一立ちできるまで、ボランティア派遣による協力が求められており、引き続き隊員要請を行うこととなった。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 公開講座の年間スケジュールの策定および新規クラス開講。 2. 単位制クラス、公開講座の年間指導計画作成およびその実施(試験作成と実施、評価、教材研究など)。 3. イベントの企画運営(日本文化紹介、スピーチコンテストなど)。 1, 2においては現地人教師の指導と育成の観点から、可能な限り隊員自身が主導的に行うのではなく、現地人教師のアドバイザー的立場で活動を行う。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 LL教室、NTSC式VHS型ビデオ、パソコン(ワード、エクセル、パワーポイントあり)、各種日本語教育(学習)教材		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 学科長(男性、40代、専攻は英語) アジア言語コーディネーター(男性、30代、フランス語講師) 現地教師候補者(女性、20代、学生、中級レベル)	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	学歴理由:	
	・経験 実務経験	経験理由:
	・日本語教授法	理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概況 気候(サバナ) 気温(25-35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 況 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 17 日

要請番号(JL 242 - 09- B - 05)

調査者名: 後藤 真紀子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ジャマイカ	職種 日本語教師 (コード 6852)	○ 新規 ● 交替 6 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	22 / 1	年 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor			2	22 / 2	
指導科目(英)	3	/				

プログラム番号・名: 日本語教育の拡充
 プロジェクト名:

1) 受入省庁名(日本語) 教育省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Education

2) 配属先名 (日本語) 西インド諸島大学(モナ校)
 (英語) The University of the West Indies Mona Campus

3) 任地 キングストン
 首都(キングストン)から 北 方向 0 Km
 主要都市(キングストン)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 配属先はカリブ地域を代表する総合大学であり、本校である上記配属先校の他に、バルバドスとトリニダード・トバゴにキャンパスを有している。ジャマイカにおいては、最高学府として各界の中核をなす人材を多く輩出している。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 同校外国語文学学科へは、1996年以降、JOCV日本語教師を継続して派遣してきた。日本語コースは第2外国語として単位の取得ができる正規のコースである。同校での日本語コース受講者は毎年一定数おり、日本語学習への意欲を持った学生のニーズに応えるため、本要請が出された。今後副専攻科になる可能性もある。同配属先の教師として、日本文学、文化、歴史等の学習も求められている。現在1年生2クラス、2年生1クラス、3年生1クラスを2名の日本語教師で授業を実施している。同日本語コースでは、1コマ60分授業を各クラス8コマ/週=(32コマ)を実施し、JOCVは1年生の1クラスと2年生を担当(16コマ/週)している。

2) 期待される具体的業務内容
 1. 日本語コース運営(教材整備、準備、試験準備、評価、文化活動等を実施する)
 2. 生徒への指導
 1クラス(数名～、40名以下)に、週10～20時間。(講義4時間、LL1時間、コンサルテーション2時間、会話1時間)
 3. 日本語クラブ活動のサポート、大学のイベント(日本文化、日本語紹介等)参加

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 LL教室視聴覚機器(Sony LL Control ConcolLLC-9000 sSYSTEM)、カセットデッキ、VHS ビデオCD、DVD等
 日本語学習教材(テキスト、辞書、絵カード、ひらがな表等)

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 指導対象者: 同配属先学生 18歳～25歳。学生の専攻は多様。初級レベルの学習者	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
--	-----------------------------------	--

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由: _____

・学歴 大卒 学歴理由: 同配属先の教師として必要

経験理由: _____

・日本語教授法 理由: 指導者として活動する為、必要不可欠

理由: _____

活動用交通手段の必要性

○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車

研修等

形態

現職教員特別参加制度

×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域

気候(熱帯性気候) 気温(28℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○ESV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21年 8月 13日

要請番号(JL 251 - 09 - B - 12)

調査者名:野本 正美調整員

国名	職種/指導科目	区分	派遣希望期間	派遣希望時期		
パナマ	職種 日本語教師 (コード 6852)	長期のみ	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	22 / 1	年 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor			2	22 / 2	
指導科目(英)	5 代目	3	22 / 3			

プログラム番号・名: パナマ その他プログラム
 プロジェクト名:

1) 受入省庁名(日本語) パナマ工科大学
 (受入機関名)(英語) Panama University of Technology

2) 配属先名 (日本語) パナマ工科大学語学センター
 (英語) Panama University of Technology, Language Center

3) 任地 パナマシティ
 首都(パナマ市)から 北 方向 0 Km
 主要都市(パナマ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 パナマ工科大学は国内唯一の理工系国立大学である。同大学語学センターは1999年に設立され、公開講座として一般社会人も対象とした数か国語のコースを実施。そのうち韓国語・中国語コースは韓国・中国のボランティアによる。なお、日本国政府から草の根・人間の安全保障無償資金協力により供与されたLL機材等も利用して活発な語学指導が行われている。大学全体の2009年度年間予算はUS\$52,267,200。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 同大学語学センターには2007年までSV派遣が行われていたが、体調不良による任期短縮のため授業が中断された。また、適切な日本語教育の人材育成も中断している。その後、パナマ人講師により初級クラスのみが継続されているものの2010年に同講師の大学院進学が予定されている。しかし、その後も授業の継続を強く望まれているため今回の要請となった。2009年1学期(3月16日~5月15日)は、初級クラス(週2日コース/1回2時間半、週1日コース/1回4時間)がレベル別で5クラス実施し、約50名の生徒を指導している。1コース終了毎にレベルが上がるシステム。公開講座のため、申し込んだ生徒は熱心に受講している。

2) 期待される具体的業務内容
 現在、初級クラスはパナマ人講師が担当しているが、同講師の大学院進学によりボランティアがコース実施(初・中級クラス)にかかるとの業務を受け持つ。
 1. カリキュラムと教材作成及び受講生への直接指導
 2. 日本文化の紹介
 3. パナマ人講師の人材育成

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 執務机、テレビ、ビデオ(VHS/DVD)、プリンター、各種日本語指導書(教師用、生徒用各種)、LL機材

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 センター長(女性、40代)
 初級クラス担当講師(男性、20代、電気工学部5年生)
 生徒: 15~45歳、生徒平均年齢: 20~22歳

5) 業務使用言語
 ● スペイン語
 ○ ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル:)
 (レベル:)

資格条件
 条件(資格、免許、性別)及びその理由
 性別理由:
 ・学歴 大卒 学歴理由: 大学で講師として活動するため
 ・経験 実務経験 2年以上 経験理由: 2年半以上学習経験のある生徒もいるため
 ・日本語教授法 理由: 現地教師育成のために必要
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概況
 気候(亜熱帯) 気温(20~35℃位) 電気安定 不安定 なし
 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道安定 不安定 なし

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 17 日

要請番号(JL 306 - 09 - B - 07)

調査者名:石井 静

国名	職種/指導科目 (コード 6852)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ボリビア	職種 日本語教師	○新規 ◎交替 5 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	22 / 1
	指導科目			2	22 / 3
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			3	/
				年 月 から	

プログラム番号・名
 その他(情操教育支援)

プロジェクト名

1) 受入省庁名(日本語) 企画開発省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Development and Planification

2) 配属先名 (日本語) ラパス・ボリビア日本文化財団
 (英語) La Paz-Bolivia Japanese Cultural Fundation

3) 任地 ラパス県ラパス市
 首都(ラパス市)から 北 方向 0 Km
 主要都市(ラパス市内)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 同ラパス・ボリビア日本文化財団は、1922年に設立されたラパス日本人会から独立し、2007年10月に設立。主たる事業は、日本語普及学校の運営の実施。同学校における現在の生徒数は約180名(内日系人は5名)。また、日本文化の普及を通じ、日本文化の紹介及び日本とボリビアの架け橋となる人材の育成も目的としている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 活動先である日本語普及学校は、これまで4代の日系社会青年ボランティアが派遣され、日系子弟の中で日本語に自信がない者や日本語に興味を持つ現地人への日本語能力の向上に努めている。近年日本語を通じた日本文化に興味を持つ学生・社会人が増加し、普及学校への入学申し込みが殺到している状況である。これを受け、学校でも歴代のボランティアの指導により能力に応じたクラスを増やす、指導方法を変えるなどの努力をしているが、教師自身の経験不足や指導方法の未熟さが未だ見受けられる。このため教師に対地的確に助言・指導することができ、授業も直接担当し、日本語の普及に資するボランティアが必要となり本要請に至った。

2) 期待される具体的業務内容
 勤務時間: 月~金 16:00~21:00 (状況により変更あり)
 1. 授業の実施(当初は初級後半~中級クラス(日本語能力試験3・4級程度)を担当する。
 2. 学校運営に関わる業務全般の補助及び助言・提案を行う。
 3. 教師勉強会等において現地教師に対する教授法等の支援を行う。
 4. 現地に適した教材の共同開発の協力を行う。
 5. 新人現地教師の育成支援を行う。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 VHSビデオデッキ、CDプレーヤー、コピー機

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 講師: 5名(経験4~25年)	5) 業務使用言語 ◎ スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
---	--------------------------------------	--

条件(資格、免許、性別)及びその理由

・性別 男性 性別理由: 安全対策上
 学歴理由:
 ・経験 実務経験 3年以上 経験理由: 円滑に活動を実施するために必要である
 ・日本語教授法 理由: 業務遂行上必要に必要である
 理由:

活動用交通手段の必要性 ○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車	研修等	形態	現職教員特別参加制度 ×
-----------------------------------	-----	----	-----------------

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(亜熱帯高地) 気温(5~25℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21年 6月 17日

要請番号(JL 463 - 09 - B - 01)

調査者名:石島和彦

国名	職種/指導科目 (コード 6852)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
エジプト	職種 日本語教師	○新規 ●交替 2代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1
	指導科目			2	22 / 2
	職種(英) Japanese Language Instructor			3	22 / 3
	指導科目(英)				年 月 から

プログラム番号・名 4630000000006 プロジェクト名
 運輸交通効率化

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 高等教育省 (受入機関名)(英語) Min. of Higher Education
	2) 配属先名 (日本語) ルクソール観光高等専門学校 (英語) High Institute of Hotel and Turism
	3) 任地 ルクソール 首都(カイロ)から 南 方向 700 Km 主要都市(ルクソール)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 2000年に設立されたホテル、ツーリズム、ガイドの3コースを擁する観光専門学校。学生数約2000人、教師数45名の4年制男女共学校。ガイドコースを修了した学生は卒業後、関係機関に登録後、英語ガイドの資格を取得できる。日本語ガイド資格は、日本語Deplomaコース修了もしくは、関係機関における試験合格で取得できる。KOICA (韓国) ボランティア(韓国語教師)が派遣されている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 観光業はエジプト国の主力産業の一つで、ルクソールはカイロに次ぐ第2の観光都市である。2004年10月より本配属先に青年海外協力隊(日本語教師)の派遣が始まり、2008年9月からボランティア2名体制で活動中である。選択第2外国語コースの日本語クラス(週8時間/1コマ2時間)の授業運営を担当し、ノンネイティブのエジプト人日本語教師に対し日本語教授法の指導を継続することを目的に本要請が出された。日本語クラスは1年生から4年生まで選択でき、各学年週2コマずつ授業があり、ボランティアはそのうち2学年を担当、授業運営、試験、評価を実施する。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 日本語クラスの運営(授業、試験作成、評価) 2. 日本語クラスを選択した学生の成績評価 3. ノンネイティブ日本語教師カウンターパートの育成、指導		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ホワイトボード、LL教室、実習用小博物館、インターネット(ISDNライン)		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 学長(50代・男性) CP(20代・女性) 指導対象 22歳以上のエジプト人学生(男性・女性)	5) 業務使用言語 ● エジプト語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	学歴理由:	
	・経験 実務経験 2年以上 ・日本語教授法	経験理由: CPへの指導を行う為 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(砂漠性気候) 気温(10-50℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21年 6月 26日

要請番号(JL 548 - 09 - B - 33)

調査者名: 傍嶋 健

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
タンザニア	職種 日本語教師 (コード 6852)	○ 新規 ● 交替 2 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV/SV	
	指導科目			1	22 / 1
	職種(英) Japanese Language Instructor			2	22 / 3
指導科目(英)	3	/	日系/短期等		
				年 月 から	

プログラム番号・名 プロジェクト名
教育の質とアクセス向上プログラム

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 教育職業訓練省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education and Vocational Training		
	2) 配属先名 (日本語) ドドマ大学 (英語) The University of Dodoma		
	3) 任地 ドドマ州ドドマ 首都(ダルエスサラーム)から 西 方向 400 Km 主要都市(ドドマ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.2 時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 本校は創立されて1年の新しい大学であるが、2010年には学生総数40,000名の東アフリカで最大規模の大学を目指している。教育、人文社会科学、情報科学などの学部があり、人文社会科学に日本語をはじめアラビア語、英語、韓国語、中国語などのコースを設ける予定である。予算は年間4億円であり、政府は200億円をかけて同大学までの道路整備、建物の建築を行っている。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同大学では社会における卒業生の即戦力化を目指し外国語教育に力をいれており、その中の日本語コース設立と運営のために今回要請が上がった。学生は複数の外国語を選択することになり、卒業後は修得した外国語をもとに翻訳、通訳、コーディネーターなどの職業につき世界で活躍できることが期待されている。なお、同要請に先駆け、JOCV(短期)が2009年8月から翌年2月(6ヶ月間)まで派遣予定。業務内容は、調査およびカリキュラム・教材準備、そして1学期間の試行的クラス運営としている。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 本格的な日本語コース開設のため、シラバス・カリキュラムの作成と適切な教材を開発・選定する。 2. 同コースの学生となる1学年生約20名(上限)に対し、週あたり2時間の講義(講義、LL)と1時間のセミナーを行なう。従って1 Semester(15週)あたりでは45時間となる。 3. 同コースの試験問題の作成、採点を行なう。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 語学クラス用の教室及び、一般的な教材。		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教師 95名(うち女性 31名) 教員以外のスタッフ 104名(うち女性 58名) カウンターパートは女性で20歳代 学生は高卒以上のレベル	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ スワヒリ語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	性別理由:		
	学歴理由: 配属先の要請		
	経歴理由: 理由: 業務上必要なため 理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域	気候(内陸性気候) 気温(10~30℃位)	電気(□安定 ☑不安定 □なし)
電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)		水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 8 月 11 日

要請番号(JL 745 - 09 - B - 05)

調査者名:坂井名穂子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
キルギス	職種 日本語教師 (コード 6852) 指導科目	○新規 ●交替 5 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			1	22 / 1
				2	22 / 2
			3	22 / 3	年 月 日

プログラム番号・名 _____ プロジェクト名 _____

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 教育科学省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education and Science
	2)配属先名 (日本語) ビシケク人文大学 (英語) Kyrgyz Humanities University
	3)任地 ビシケク 首都(ビシケク)から 北 方向 0 Km 主要都市(ビシケク)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1979年旧ソ連で言語人文大学として発足。91年の大学改組、学部増設により日本語教育が始まり、94年に現在名に改称。東洋国際関係学部の主専攻はアジア諸国の経済、政治、歴史、国際関係で、専門研究のための言語として日本語、朝鮮語、トルコ語、アラビア語、ベルシャ語のいずれかを第一言語として専攻しなければならない。図書に関しては、国際交流基金からの支援もあり充実してきている。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同大学は民族大学、東洋言語文化大学とともに当国における日本語教育の中心となっており、多くのボランティア日本人教師によって支えられてきた。しかし待遇面の問題からか現地人教師の移動が激しく、多くの日本人教師も引き上げる。一方、日本語を専攻する学生は一学生は4~5クラスとクラス数が増えてきている。このような状況下、前任者に引き続きレベルの高い日本語教育を維持するとともに優秀な現地人教師を養成する上で協力隊員派遣は不可欠である。		
	2)期待される具体的業務内容 (1)教案作成指導 (2)現地専任講師に対するアドバイス (3)大学協定に基づく学術交流促進の支援 (4)キルギス日本語教師界の活動に対する積極的な協力(月1回の定例会への出席、各種イベントの企画運営等)も期待されている。		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 LL教室、テレビ、ビデオデッキ、カセットテープレコーダー、CDラジカセ、ホワイトボード、カセット、ビデオ教材、日本語の書籍、教科書、辞書など		
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 現地人教師(男性1名、女性9名) 日本人教師(女性2名)	5)業務使用言語 ● ロシア語 () ○ ()	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	学歴理由: ・学歴 大卒	
	経歴理由: ・経歴 実務経験 3年以上	
	理由: ・日本語教授法	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
 現地気候(内陸性気候) 気温(-20~35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 状況電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 1 日

要請番号(JL 763 - 09 - B - 06)

調査者名: 畑中 史英

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ウズベキ スタン	職種 日本語教師 (コード 6852) 指導科目	○新規 ◎交替 5 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 2	年 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			2	22 / 3	
			3	/		

プログラム番号・名: 職業教育拡充プログラム
 プロジェクト名:

1) 受入省庁名(日本語) 中高等専門教育省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Higher Secondary Specialized Education

2) 配属先名 (日本語) タシケント国立東洋学大学付属高校
 (英語) Tashkent Litsei of State Institute of Oriental Studies

3) 任地 タシケント州タシケント市
 首都(タシケント)から 北 方向 5 Km
 主要都市(タシケント)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 タシケント国立東洋学大学は市内に付属校(リツェー)を2校(アルマザール校、ユヌサバード校)有している。リツェーは小学校5年間、中学校4年間を修了した15~18歳の生徒が入学する3年制の学校で、日本では高校に相等する。東洋学大学付属リツェーでは生徒たちは東洋の言語(日本語、アラビア語、中国語、韓国語、ヒンディー語、トルコ語)の中から一つの言語を選択し、第一外国語として学んでいる。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 現在派遣中のJOCV(2008年9月より活動中)は4代目であり、2校の付属校を巡回して各校の日本語の授業を担当している。現地人日本語教師と分担して、週に10~15コマの授業を行っている。日本語弁論大会や文化祭等のイベント、日本語能力検定試験の準備や補習等、授業以外にもイベント開催時期は多忙となる。両校とも日本語は人気があり生徒が多いが、現地人教師は大学生がアルバイトとして教えている者もいるため、定着しないことが難点。JOCVは授業を担当することに加え、現地人教師の育成および勉強会、教材の整備等が求められる。

2) 期待される具体的業務内容
 1. 東洋学大学付属校2校(アルマザール校とユヌサバード校)において直接日本語の授業を担当する。
 2. 現地人教師の授業を参観し、アドバイスを。可能であれば、日本語教育の勉強会を実施する。
 3. 必要に応じて、現在のカリキュラムの改善や教材の整備等を行う。
 4. 現地の日本語教師会が主催する日本語弁論大会や日本語能力検定試験等にも協力が求められる。
 5. リツェー主催の弁論大会等のイベント企画・運営を現地人教師と協力して行う。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 パソコン、プリンター、CDラジカセ、DVDプレーヤー

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 現地人日本語教師 7名(日本語能力試験2~3級程度) ・ユヌサバード校 男性1名 女性3名 20歳代 ・アルマザール校 女性3名 20歳代	5) 業務使用言語 ◎ ロシア語 () ○ ウズベク語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
---	--	--

資格条件
 条件(資格、免許、性別)及びその理由
 性別理由:
 学歴理由:
 ・経験 実務経験 2年以上 経験理由:教師の育成も求められているため
 ・日本語教授法 理由:実際に授業を受け持つことになるため

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域況
 気候(ステップ) 気温(-20~40℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21年 7月 1日

要請番号(JL 763 - 09- B - 07)

調査者名: 畑中 史英

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ウズベキ スタン	職種 日本語教師 (コード 6852) 指導科目	○新規 ●交替 6代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 3
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			2	/
				3	/
プログラム番号・名 職業教育拡充プログラム		プロジェクト名			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 外務省 (受入機関名)(英語) Ministry of Foreign Affairs				
	2) 配属先名 (日本語) 世界経済外交大学 (英語) University of World Economy and Diplomacy				
	3) 任地 タシケント州タシケント市 首都(タシケント)から 北西 方向 4 Km 主要都市(タシケント)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.25 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 当国で唯一外務省の管轄下にある大学で、学生数は1200人。国際経済学部、国際法学部、国際関係学部の3学部と外交官の再教育機関として外交実践学部が設置されている。外国語教育に力を入れており、第一外国語には英語、仏語、独語、第二外国語には英語、仏語、独語、伊語、西語、韓国語、日本語などの9言語講座がある。ロシア、EU諸国、韓国、日本からの機材、教材の供与、KOICAからの教師派遣も行われている。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 現在派遣中のJOCV(2009年1月より活動中)は5代目である。第二外国語の日本語講座に必要な機材や教材については充実しており、日本語を学習する環境は整っている。しかし、現地人日本語教師が定着しないこともあり、日本語授業のカリキュラムの作成やカリキュラムに沿った授業を行うことが確立されていない。現地人日本語教師と分担して週8~10コマの授業を行うほか、教師同士で協力して効果的な授業計画を立てることが求められる。カウンターパートのベテラン教師は、2009年4月から1年間の予定で休職中であるが復職するかは定かではない。				
	2) 期待される具体的業務内容 現地人日本語教師と協力しながら、主に以下の業務を行う 1. 2年生から5年生までの日本語クラス(8~13名)を対象に週8~10コマ(1コマ80分)の日本語授業を担当 2. 初級から中級にいたるカリキュラムの作成およびシラバスの設定。「みんなの日本語 I II」、「J Bridge」等使用。 3. 現地人日本語教師の授業のサポートやアドバイスの提供。 4. 現地の日本語教師会が主催する「日本語弁論大会」や「日本語能力検定試験」等にも協力が求められる。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 LL教室(ビデオテープ、カセットテープ再生可、TV有<衛星放送視聴可、DVD再生可>)、パソコン(インターネット可)、プロジェクター、CDラジカセ、コピー機				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 現地人日本語教師 1名 20代、女性 (現地人日本語教師 1名<カウンターパート>30代 女性、日本滞在のため休職中)	5) 業務使用言語 ● ウズベク語 () ○ ロシア語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)		
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由				
			性別理由:		
	・学歴 大卒		学歴理由: 大学で講師を務めるには最低でも学士が必要		
	・経歴 実務経験 2年以上		経歴理由: 教師の育成も求められているため		
・日本語教授法		理由: 中級以上の指導が期待されているため			
		理由:			
活動用交通手段の必要性				研修等	形態
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車					
					現職教員特別参加制度
					x
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)					
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概 況 域	気候(ステップ) 気温(-20~40℃位)		電気(☑安定 □不安定 □なし)		
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)		水道(☑安定 □不安定 □なし)		

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21年 7月 1日

要請番号(JL 763 - 09 - B - 08)

調査者名: 畑中 史英

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ウズベキ スタン	職種 日本語教師 (コード 6852)	○新規 ◎交替 3代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 3
	指導科目			2	/
	職種(英) Japanese Language Instructor			3	/
	指導科目(英)				年 月 日から

プログラム番号・名
職業教育拡充プログラム

プロジェクト名

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 中高等専門教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Higher Secondary Specialized Education
	2) 配属先名 (日本語) サマルカンド国立外国語大学 (英語) Samarkand State Institution of foreign Languages
	3) 任地 サマルカンド州サマルカンド市 首都(タシケント)から 南西 方向 250 Km 主要都市(サマルカンド)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1994年教育システム改変時に開講された4年生の国立大学。英語学部、仏語学部、独語学部、韓国語学部、初等教育学部、通訳学部(東洋言語講座室・日本語学科を含む6言語の学科)があり、全校生徒は約2,000人。1998年9月に英語学部の第二外国語として日本語コースが開講されたが、2008年9月に通訳学部にて第一外国語として日本語学科が設置された。日本の文化無償で設置されたLL教室がある。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当国第二の都市であるサマルカンドでは、日本語教育熱が高まっており、2008年9月に同大学において日本語は第一外国語に制定された。現在派遣中のJOCV(2009年1月より活動中)は2代目である。第一外国語として日本語を履修する1~2年生(約35名)と第二外国語として日本語を履修する2~4年生(約50名)を同僚教師と分担し、週に10~15コマを担当している。JOCVは授業を担当することに加え、現地人教師の育成やカリキュラム作成、教材の整備等が求められる。JSV(日本シルバーボランティアズ)など他組織の日本語教師も派遣されているが、現地人日本語教師の育成が思うように進んでいないのが現状である。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 日本語を第一外国語および第二外国語として履修する学生(1クラス約15名)を対象に日本語の授業を行う。 2. 日本語学科のシラバス、カリキュラム作成、コースデザインの支援 3. 現地人講師の授業に対するアドバイスおよび日本語教育の勉強会の実施。 4. 現地の日本語教師会が主催する「日本語弁論大会」や「日本語能力検定試験」等にも協力が求められる。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 テレビ、ビデオ、CDラジカセ、DVDプレーヤー、LL教室		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 日本人講師 1名(日本シルバーボランティアズ) 現地人講師 2名(20歳代、女性)	5) 業務使用言語 ◎ ウズベク語 () ○ ロシア語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	学歴理由: 大学で講師を務めるには学士が必要のため	
	経歴理由: 教師の育成も求められているため	
	理由: 実際に授業を受け持つことになるため	
	理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(ステップ) 気温(-20~40℃位)	電気(□安定 ☑不安定 □なし)
	電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21年 6月 22日

要請番号(JL 763 - 09 - B - 09)

調査者名: 井坪 豊明

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ウズベキ スタン	職種 日本語教師 (コード 6852) 指導科目	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 2	年 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			2	22 / 3	
		3	/			

プログラム番号・名 7630000000003 プロジェクト名
 民間セクター活性化プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 対外経済関係投資貿易省 (受入機関名)(英語) Ministry for Foreign Economic Relations, Investments and Trade
	2) 配属先名 (日本語) ウズベキスタン・日本人材開発センター (英語) The Uzbekistan-Japan Center for Human Development
	3) 任地 タシケント州タシケント市 首都(タシケント)から 北 方向 2 Km 主要都市(タシケント)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.20 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同センターは、市場経済化を担う人材の育成と相互理解の促進を目的として、2001年に技術協力プロジェクトにより開設され、ビジネス研修、日本語教育、相互理解促進事業を実施している。JICA専門家2名、国際交流基金の日本語教育専門家1名、JOCV(青少年活動)1名が活動中である。現地年間予算は約3,000万円、このほか約1,100万円の受講料等による自己収入がある。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同センターの日本語コース受講者数は約300名、同国内でも最多数の日本語学習者を指導する施設である。これまでは国際交流基金が派遣する日本語教育専門家を中心となって、カリキュラムの作成や教材の選定、現地人日本語教師への指導を実施してきたが、同専門家の派遣は平成22年11月に終了する。そこでJOCVは、主に現地人教師の授業に協力し、ネイティブの日本語教師としての特長を生かした講義を実施する。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. 単独又は現地講師と共同での日本語授業。 2. 教材作成及び日本語教育関連資料の整理。 3. センターにおける勉強会、報告会、シンポジウム等の実施支援。 4. 現地の日本語教師会への参加、提言。 5. 日本国内の関連機関、現地日本人講師・ティーチングアシスタント間の調整。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教室等の同センター施設、コンピューター・コピー機等の事務機器、プロジェクター等の視聴覚機材。「みんなの日本語」ほか各種日本語教材。	

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 現地職員20名(男性4名、女性16名) うち日本語事務担当職員(女性2名、20歳代) 常勤日本語講師2名、非常勤日本語講師約8名。 受講者:子供~大人	5) 業務使用言語 ● ロシア語 () ○ ウズベク語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	性別理由:		
	学歴理由: 同僚が大卒以上のため		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車		N	X

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(ステップ) 気温(-20~40℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 6 月 22 日

要請番号(JL 763 - 09 - B - 10)

調査者名: 井坪 豊明

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ウズベキ スタン	職種 日本語教師 (コード 6852)	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 2	年 月 から
	指導科目			2	22 / 3	
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			3	/	

プログラム番号・名 7630000000003 プロジェクト名 民間セクター活性化プログラム

1) 受入省庁名(日本語) 対外経済関係投資貿易省
 (受入機関名)(英語) Ministry for Foreign Economic Relations, Investments and Trade

2) 配属先名 (日本語) ウズベキスタン・日本人材開発センター ブハラ分室
 (英語) The Uzbekistan-Japan Center for Human Development, Bukhara Branch

3) 任地 ブハラ州ブハラ市
 首都(タシケント)から 南西 方向 500 Km
 主要都市(ブハラ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 同センターは技術協力プロジェクトにより2001年に首都タシケントで開設、2007年には地方都市にあるブハラ大
 学構内にブハラ分室が設置された。同分室では、日本語教育、相互理解促進、短期ビジネス研修を実施。タシケ
 ントの同センターにはJICAの専門家2名、国際交流基金の日本語教育専門家1名、JOCV(青少年活動)1名
 が、ブハラ分室にはJOCV(青少年活動)1名が活動中。同分室の年間予算は約260万円。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 同分室はブハラ地域における唯一の日本語教育施設であり、現地人職員2名が初級クラスの指導に当たっている。日本セ
 ンターの実施する日本語教育として、ネイティブの日本人日本語教師からの指導を受けたいという希望、また初級クラスを
 終了した受講生からの中級クラスの開講要望も大きい。そこでJOCVは現地人教師の授業に協力し、ネイティブの日本語
 教師としての特長を生かした支援を実施すると共に、現地人教師と共に中級クラスの新規開設に当たることが求められて
 いる。

2) 期待される具体的業務内容

1. 単独又は現地講師と共同での日本語授業。
2. 教材作成及び日本語教育関連資料の整理。
3. タシケント日本語コース職員との連絡・調整。
4. センターにおける勉強会、報告会、シンポジウム等への参加、実施支援。
5. 現地の日本語教師会への参加、提言。
6. 同分室運営全般(施設・備品管理、受付、来客対応等)に係る支援。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 教室等の同分室施設、コンピューター・コピー機等の事務機器、プロジェクター等の視聴覚機材。「みんなの日本語」ほか
 各種日本語教材。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層) 及び指導対象者の技術レベル ・日本語講師兼総務担当1名(20代男性)、日本語講師兼相互 理解促進事業担当1名(20代女性)、受付兼会計1名(20代女 性)、清掃スタッフ1名(40代女性)。	5) 業務使用言語 ● ウズベク語 () ○ ロシア語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
--	--	--

資格条件 (資格、免許、性別) 及びその理由

性別理由:	
・学歴 大卒	学歴理由: 同僚が大卒以上のため
・日本語教授法	経験理由: 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車		N	×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a.エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(ステップ) 気温(-20~40℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 8 日

要請番号(JL 006 - 09- B - 05)

調査者名: 間澤 友紀子

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
インドネ シア	職種 理数科教師 指導科目	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	22 / 2
				3	22 / 3
				年	月
				から	

プログラム番号・名: プロジェクト名 初中等教育

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 国民教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of National Education
	2) 配属先名 (日本語) スレマン第3中学校 (英語) Sleman No.3 Junior High School
	3) 任地 ジョグジャカルタ 首都(ジャカルタ)から 東 方向 300 Km 主要都市(ジョグジャカルタ)までの交通手段及び所要時間('自転車' で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 生徒総数653名、教師数50名。(他に事務員、用務員数名)大規模ではないが、スレマン県の地域教師学科別勉強会(MGMP)の中心校である。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) イ国中学校理科は2004年にカリキュラム改定により、従来の生物・物理に科学を加えた総合理科となったが、全国的に化学を教授できる教員が少ないことが問題となっており、各学校においても化学はエクストラカリキュラムとして扱われているのが現状である。理科科目では理論の暗記を中心とする詰め込み式の教育が行われており、実験等により、授業内容の理解を深める機会が不足している、このため、授業計画に沿い適切な実験を導入することで生徒の理解を促し、暗記偏重によらない理科授業に向けた現場改善が求められている。現在活動中の隊員は、実験の紹介のほかに日本語の指導も積極的に行っている。
	2) 期待される具体的業務内容 1) 身近な材料を利用した簡素で楽しく面白い実験を導入し、理論に対する理解を深める授業法を提案する。 2) 同僚教師とともに、実際に教室に入り、チーム・ティーチングの形態で授業を担当することで、教授能力向上に対する協力を行う。(化学・物理・生物全てを満遍なく教えられることが望ましい) 3) 地域教師教科別勉強会に参加し、特に化学に関する現地教師らの教授能力向上に協力する。 4) 日本語の授業に参加したり、日本文化を紹介することも、期待されている。

要	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 理科実験室、実験道具(資機材は限られている)
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 理数科教師10名 数学(男性1人、女性3人) 物理(男性2人、女性2人) 生物(男性0人、女性2人) 年齢 40~50歳

資 格 条 件	5) 業務使用言語 ● インドネシア語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	・教諭免許 中・理	性別理由:
	・学歴 大卒	学歴理由: 同僚教師らが大学である

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概況
 気候(熱帯雨林) 気温(25~35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21年 7月 14日

調査者名:伊佐治 直樹

要請番号(JL 006 - 09- B - 16)

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
インドネ シア	職種 理数科教師 指導科目	○新規 ●交替 2代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	22 / 2
				3	22 / 3

プログラム番号・名 0060000000022 プロジェクト名
 南スラウェシ州地域開発プログラム

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 国民教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of National Educaion
	2)配属先名 (日本語) アルンケケ第一中学校 (英語) Arungkeke No.1 Junior High School
	3)任地 南スラウェシ州ジェネボント県 首都(ジャカルタ)から 東 方向 1300 Km 主要都市(マカッサル)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) アルンケケ第一中学校:1989年設立、生徒数383人、教員数21人(正規職員15人、契約教員1人、ボランティア教員5人)、 理数科担当教員:2人 (巡回校)ルンピア第一中学校:1992年設立、生徒数406人、教員数22人(正規職員9人、契約教員13人)、理数科担当教 員:4名

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 9年制義務教育の達成を目標に掲げるインドネシアでは、前期中等教育の質の向上が優先課題の一つとなっている。ジェネボント県では、2004年より新カリキュラムが導入され、これまでの生物・物理に加えて化学が中学校の総合理科に含まれることとなった。しかしながら、新カリキュラムに対応した教科知識や実験技術を十分に備えた教員養成がなされていないため、理数科教員への指導を担う協力隊員派遣の要請がなされた。現在派遣中の隊員は、同僚理科教師と共に実験を導入した分かりやすい授業を行っている。配属先は継続的なJOCVの派遣を強く希望している。
	2)期待される具体的業務内容 アルンケケ第一中学校において以下のような活動を行うことが期待されている。 ①新カリキュラムに対応した理科/化学実験・教授法の提案。特に身近な資機材を使用して出来る実験を中心とした授業を行うことで、生徒の理科に対する興味を深める。 ②学校内や地域の教科研究会(MGMP)の活性化に向けた活動。 ③教員と協力しながら新カリキュラムに対応した教材開発を行う。 また、必要に応じてルンピア第一中学校(SMPN1 Rumbia)においても同様の活動を行う。

要	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 顕微鏡、ピーカー、フラスコ、ビュレット、スポット、電流計、人体模型等
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 理科担当教員:2名、30~40代

5)業務使用言語 ● インドネシア語 () ○ ()	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
---------------------------------------	---------------------------------------

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
	・教諭免許 中・理	学歴理由:配属先要望による
	・学歴 大卒	経歴理由:配属先要望による
	・経歴 指導経験 3年以上	理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(熱帯雨林) 気温(25~30℃位)	電気(□安定 ☑不安定 □なし)
	電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○ESV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21年 2月 9日

要請番号(JL 006 - 09 - B - 18)

調査者名: 池上 実

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
インドネ シア	職種 理数科教師 指導科目	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	22 / 2
				3	22 / 3
				年	月 から

プログラム番号・名

プロジェクト名

東部インドネシア開発支援(南スラウェシ州地域開発)

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 国民教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of National Education
	2) 配属先名 (日本語) バジェン第1中学校 (英語) Bajeng Secondary School 1
	3) 任地 南スラウェシ州ゴワ県 首都(ジャカルタ)から 東 方向 1300 Km 主要都市(マカッサル市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) バジェン第1中学校:生徒数723人(男子319人、女子404人)、教員数51人(物理3人、生物3人) (巡回校/①パラガ第1中学校:生徒数1209人(男子537人、女子636人)、教員数68人(物理6人、生物9人))

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ゴワ県では2004年より新カリキュラムが導入された。しかし総合理科(生物・物理・化学)については、化学専門の教員配備はできておらず、生物もしくは物理の教員が各教科書の中の化学のチャプターを教えている。新カリキュラムの導入に際しては、州・中央レベルで教授法や評価法に関する研修が実施されたが、地方の多くの教員は限られた研修しか受けておらず、化学を教えることに対する知識や技術の不足を感じている。このため、チームティーチングを通じ、同僚教師を支援できる協力隊員の派遣が要請された。		
	2) 期待される具体的業務内容 バジェン第1中学校をベースに以下のような活動を行うことが期待されている。 ①カリキュラム2004に対応した理科/化学実験・教授法の指導。高価な機材や機器ではなく、身近な資機材を利用してできる実験法を示すことで生徒の理科に対する興味を深める。 ②学校内や地域の教科研究会(MGMP)の活性化に向けた活動 ③教員と協力しながら新カリキュラムに対応した教材開発を行う。 また、必要に応じて巡回校であるパラガ第1中学校に対し、理科実験などの実施支援を行う。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 顕微鏡、ピーカー、フラスコ、ビュレット、スポット等、理科実験に必要な機材		
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層) 及び指導対象者の技術レベル 教員の化学における知識は乏しいが、各校ともに好調は熱意を持って学校運営に取り組んでおり、教員もJOCVの持つ技術や指導法を学ぶ意欲は持っている。	5) 業務使用言語 ● インドネシア語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 性別理由: 学歴理由: 経歴理由: 理由: 理由:		

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由
	性別理由: 学歴理由: 経歴理由: 理由: 理由:
	・理科系教諭3年以上

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概況	気候(熱帯雨林) 気温(30℃位) 電気(☐安定 ☑不安定 ☐なし)
地域	電話(インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☐安定 ☑不安定 ☐なし)



平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 15 日

要請番号(JL 021 - 09 - B - 01)		調査者名: 馬田 英樹			
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
カンボジ ア	職種 理数科教師 (コード 6901) 指導科目	○新規 ●交替 4 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 2
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	22 / 3
				3	/
年 月 日 から					

プログラム番号・名 0210000000011 プロジェクト名 理数科教育改善プログラム

配属先概要

1) 受入省庁名(日本語) 教育青年スポーツ省
(受入機関名)(英語) Ministry of Education, Youth and Sport

2) 配属先名 (日本語) プノンペン中学校教員養成校
(英語) Regional Teacher Training Center

3) 任地 プノンペン市トゥールコーク地区
首都(プノンペン)から 西 方向 0 Km
主要都市(プノンペン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
本校は全国に6校ある中学校教員養成校のうちの1校。教員数54名。2学年制で1年生は161人、2年生は158人。卒業してからそれぞれ理数科教師のほか、クメール語教師、英語教師、家庭科教師などとして各中学校の教壇にたつことになる。2009年7月からJOCV(家政)も活動中。日本大使館の「草の根無償協力」で理科実験棟が建設され、2009年5月頃から活用されている。

要請概要

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
JICAの理数科教育改善計画プロジェクト2(STEPSAM2)による研修会や、3代にわたる協力隊員派遣により、同校の理科教員の多くは理論中心から実験や実習の大切さを理解するようになってきた。現在も中学校カリキュラムに沿った実験をカウンターパートに学んでもらい、また同校の生徒にも実験の重要性を体感してもらっている。今後も理科のカリキュラムに沿ったさまざまな実験や実習ノウハウを、多くの理数科教員に知ってもらいたいと、同校の校長より協力隊員の継続的な派遣を要請された。

2) 期待される具体的業務内容

1. 定理や定義の裏づけを深く理解してもらうため、効果的な実験を教員に紹介する。
2. 実験から得られる知識の多さを学生に理解してもらうため、授業での実験を支援する。
3. 既存の理科カリキュラムに対応する実験・実習内容を検討し、具体的な指導書を作成する。
4. 現地にある身近なものを利用してできる実験や実習の内容を検討する。
5. プロジェクトの専門家や他の理数科教師隊員等と連携した活動が求められる。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
各種薬品、オシロスコープ、マルチメーター、顕微鏡、サンプルプレパレート、人体模型、天体模型、滑車、電流系、パネばかり、天秤、凹凸レンズ、フラスコ類、蒸発皿、アルコールランプなど

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 物理教師(40歳代・男性3名)、化学教師(30歳代・男性2名)、生物教師(40歳代・女性1名)、地学教師(30歳代・女性1名、20歳代・女性1名)	5) 業務使用言語 ● クメール語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
---	---	--

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

・教諭免許 中・理 性別理由:
学歴理由:

・経験 指導経験 3年以上 経験理由: 指導経験に基づいた支援が必要
理由:
理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(熱帯モンスーン) 気温(20-35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21年 7月 20日

要請番号(JL 021 - 09- B - 02)

調査者名: 馬田 英樹

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
カンボジ ア	職種 理数科教師 指導科目	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	22 / 1
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	22 / 2
				3	22 / 3
				年 月 日	から

プログラム番号・名 0210000000011 プロジェクト名
 理数科教育改善プログラム

1) 受入省庁名(日本語) 教育青年スポーツ省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Education, Youth and Sport

2) 配属先名 (日本語) コンポントム小学校教員養成校
 (英語) Provincial Teacher Training Center, Kompong Thom

3) 任地 コンポントム州コンポントム市ストウンセン地区
 首都(プノンペン)から 北東 方向 180 Km
 主要都市(コンボンチャム)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 2年制の小学校教員養成校で、修了生はコンポントム州の小学校教員となる。現在1年生119人、2年生が121人、合計240名が就学中である。高校を卒業して同養成校に進学した生徒と、僻地の中学校を卒業して同校に進学した生徒の2グループに分かれている。教師は22名。国語、算数、理科、社会、家政、音楽、英語、体育などを教授。2009年7月からJOCV(小学校教諭)が活動している。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 現在カンボジアの小学校では理論中心の授業が行われており、算数や理科の分野においては公式や定理を暗記することのみに重点が置かれてしまっている。教師は講義一般の授業から脱却し、実習や実験を多く取り入れた体験的な授業によって、理解を深めていく必要があると考えているが、そうしたノウハウを持った教師は少ない。理数科教育改善プロジェクト(STEPSAM2)の研修や青年技術研修(理数科教育)を受けた理科教師が研修で得た知識や技術を現場で活用できるように支援し、その実習や実験を授業で定着させることがボランティアに求められている。

2) 期待される具体的業務内容
 1. 理科のカリキュラムに沿った、各課ごとに実施可能な実習や実験の計画をたてる。
 2. 実習や実験の手順や方法をカウンターパート教諭へ説明し内容を理解してもらう。
 3. 養成校のクラスにてカウンターパートと共に理科の実習・実験の授業を実施する。
 4. 現地で手に入る身近なものを活用して実験ができるようアイデアを提供する。
 5. プロジェクトの専門家や他の理数科教師隊員等と連携した活動が求められる。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 特になし。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 理科担当(30歳代、男性) 算数担当(30歳代、男性2名、女性1名)	5) 業務使用言語 ● クメール語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
---	--------------------------------------	--

条件(資格、免許、性別)及びその理由

・教諭免許 中・理 性別理由:
 学歴理由:
 ・経験 実務経験 2年以上 経験理由: 実践的な指導が求められるため
 理由:
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況 気候(熱帯モンスーン) 気温(20-35℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
 水道(☑安定 □不安定 □なし)
 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 13 日

調査者名: 小熊 誠

要請番号(JL 024 - 09 - B - 07)

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ラオス	職種 理数科教師 (コード 6901)	○ 新規 ◎ 交替 3 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	22 / 1	年 月 日 から
	職種(英) Science & Mathematics Education			2	22 / 2	
指導科目(英)	3	22 / 3				

プログラム番号・名 0240000000004 プロジェクト名
 基礎教育改善

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) サバナケット教員養成短期大学 (英語) Savannakhet Teacher Training College
	3) 任地 サバナケット県カイソン市 首都(ビエンチャン)から 南東 方向 440 Km 主要都市(カイン市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は小中学校教員養成を目的として、高等学校卒業者(11年修了者)を対象とする1年間の幼稚園教諭・小学校教員養成課程と、理数科、社会、英語コースを持つ3年間の中学校教員養成課程がある。2003年から2代の理数科教師の協力隊員が派遣され、JICAの「理数科教員養成プロジェクト」が2008年6月まで実施されてきたが、学生総数3900名(自然科学科は590名)、教員総数140名(自然科学科は38名)

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同配属先には、これまで2名の隊員が活動し、物理や化学を教えてきたが、未だに隊員の評価は高い。また、JICAの「理数科教員養成プロジェクト」等の研修を通し、JICAとも連携してきたが、教育省から算数、数学教育のモデル校に指定されており、よりレベルアップした教育方法が期待されていることから、引き続き、協力隊員の要請がなされている。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 実際の授業をモニタリング、評価し、教員へ指導方法等の改善点をフィードバックする。 2. カウンターパートと協力し、授業で使用する教材を作成する。 3. 授業の中で取り入れている算数ゲーム等の改善を指導する。 4. 数学教員の数学に関する知識の向上を支援する。 5. 数学教員を対象とした指導方法、教材作成、算数ゲームに関するワークショップ開催を支援する。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コピー機、コンピューター、黒板、図書館に英語版教科書あり		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 男性 40代、修士、数学専攻、他、教員17名	5) 業務使用言語 ◎ ラオス語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	学歴理由:	・学歴 短大卒
	経験理由:	・経験 実務経験 2年以上
	理由:	短期大学の現職教員を指導するため
理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
◎ 有 ○ 無 ○ 車輦 ○ 単車 ◎ 自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(亜熱帯) 気温(20~35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21年 6月 10日

調査者名:荒井 順一

要請番号(JL 045 - 09 - B - 08)

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
モンゴル	職種 理数科教師 (コード 6901) 指導科目	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 2
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	22 / 3
				3	/

プログラム番号・名 0450000000003 プロジェクト名
 基礎教育・高等教育及び職業訓練等の充実を通じた人材育成支援プログラム

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 教育・文化・科学省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education, Culture and Science
	2)配属先名 (日本語) セドゲムジ統合学校 (英語) Setgemj Complex School
	3)任地 ウランバートル 首都(ウランバートル)から 北 方向 0 Km 主要都市(ウランバートル)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1971年に設立された12年制(6・3・3)学校(2部制)で、職員数109名(うち教師87名)、生徒約1,900名、年間予算は約4,600万円。2002年に無償資金協力にて新校舎が増設されたほか、JICAの指導法改善プロジェクトのモデル校でもある。2008年9月よりSV(理数科教師)、2009年6月よりJOCV(小学校教諭)のボランティアが活動している。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国において、これまで就学前教育の段階から実施されてきた暗記中心の教育が見直され、考える力をつける子供中心の授業を行う新ナショナルスタンダードが2005年9月に制定された。それに伴い学制がそれまでの10年制(4・4・2)が11年制へ移行し、2008年9月からは12年制へと移行した。しかし教育現場において分かりやすく、生徒の興味を引くような指導を行なえる経験豊富な教師の数が圧倒的に不足していたためボランティアが要請され、現在活動中であるが、成果が徐々に現れていることから後任のボランティア要請となった。		
	2)期待される具体的業務内容 1. 中高等部の生徒(7年生~12年生)に対し、同僚教師とともに週に数コマ、実験を中心とした物理の授業を実施する 2. 同僚教師に対する物理の指導法に関する勉強会・セミナーを実施する		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 物理教室、物理準備室、コンピュータ、プリンター、教科書・参考書等、インターネット(年度内に接続予定)		
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 中高等部物理教師(女性7名)、20~50歳代	5)業務使用言語 ● モンゴル語 () ○ ()	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由
	・教諭免許 中高・理 性別理由:
	・学歴 大卒 学歴理由:教師への指導上必要
	・経験 実務経験 5年以上 経験理由:業務遂行上不可欠
	理由:
	理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
 概地 気候(大陸性気候) 気温(-30~+30℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 6 月 17 日

要請番号(JL 045 - 09 - B - 10)

調査者名: 荒井 順一

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
モンゴル	職種 理数科教師 指導科目	○新規	●2年	1	22 / 2
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)	●交替	○1年	2	22 / 3
		2代目	○ヶ月	3	/

プログラム番号・名 0450000000003 プロジェクト名
基礎教育・高等教育及び職業訓練等の充実を通じた人材育成支援プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育・文化・科学省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education, Culture and Science
	2) 配属先名 (日本語) 第97学校 (英語) 97th School
	3) 任地 ウランバートル 首都(ウランバートル)から 北 方向 0 Km 主要都市(ウランバートル)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1992年に設立された12年制(6・3・3)学校(2部制)で、職員数125名(うち教師86名)、生徒約2,200名、年間予算は約1,600万円。2007年に無償資金協力にて新校舎が増設されたほか、JICAの指導法改善プロジェクトのモデル校でもある。また2008年9月よりJOCV(理数科教師)、2009年6月よりJOCV(体育)が活動している。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国において、これまで就学前教育の段階から実施されてきた暗記中心の教育が見直され、考える力をつける子供中心の授業を行う新ナショナルスタンダードが2005年9月に制定された。それに伴い学制がそれまでの10年制(4・4・2)が11年制へ移行し、2008年9月からは12年制へと移行した。しかし教育現場において分かりやすく、生徒の興味を引くような指導を行なえる経験豊富な教師の数が圧倒的に不足していたためボランティアの要請が挙げられ、現在活動中であるが、成果が徐々に現れていることから後任のボランティア要請となった。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. 中等部の生徒(7、8年生)に対し、同僚教師とともに週に数コマ、実験を中心とした化学または物理の授業を実施する 2. 同僚教師に対して化学または物理の指導法に関する勉強会・セミナーを実施する	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 物理準備室、化学準備室、フラスコ類、試薬、電源、電圧・電流計、テスター、発電機模型、音叉等	

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 物理教師(男性1名、女性2名)、20歳代 化学教師(女性2名)、40歳代	5) 業務使用言語 ● モンゴル語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (V/N:) □ (V/N:)
------------------	---	--------------------------------------	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
	・教諭免許 中高・理	学歴理由: 教師への指導上必要
	・学歴 大卒	経験理由: 業務遂行上不可欠
	・経験 実務経験 2年以上	理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地 気候(大陸性気候) 気温(-30~+30℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21年 6月 1日

要請番号(JL 051 - 09- B - 02)

調査者名: 駒走 拓三

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
バングラ デシュ	職種 理数科教師 指導科目 (コード 6901)	◎新規 ○交替 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1
	2			22 / 2	
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			3	22 / 3

プログラム番号・名
基礎教育内容向上プログラム

プロジェクト名

1) 受入省庁名(日本語) 社会福祉省
(受入機関名)(英語) Ministry of Social Welfare

2) 配属先名 (日本語) クムディニ女子校
(英語) Bharateshwari Homes

3) 任地 タンガイル県 ミルジャプール
首都(ダッカ)から 北西 方向 64 Km
主要都市(ミルジャプール)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
クムディニ財団は、社会福祉活動の一環としてクムディニ病院、看護学校、女子医大、貧困者を対象とした職業訓練校を運営している。また、同敷地内には全寮制の小中高一貫女子校があり、5年から12年生800名の寮生が勉学に励んでいる。過去にJOCV(1985-89年、体育、家禽、養殖)、オーストラリアボランティアが活動していた実績がある。 <http://www.kumudinibd.org/>

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
初等教育分野では小学校(教室)数、教師数が飛躍的に伸びている一方、小学校教師の経験不足などの問題が多く存在する。また指導方法も単調なパターンの繰り返しが多く、考えさせる事より暗記することに重点が置かれている。同校では、理科実験の器具も充実しており、比較的指導能力の高い教師陣が指導を行っているが、まだ改善の余地が多く残されている。そんな中、教師が授業で生かすことのできる効果的な指導方法、児童の興味・関心をひく実践的な指導技術が現場から求められ、JICAボランティアが要請されることとなった。

2) 期待される具体的業務内容
 1. 同僚教師と共に算数、理科(実験含む)等の指導方法について現状を把握し、改善点を探る。
 2. 同僚教師に対し効果的な指導方法、生徒の興味・関心をひく(楽しい授業)実践的な技術指導を行う。
 (技術指導については、以下の点が求められている)
 3. 身近なものを使った簡単な実験方法の紹介
 4. 日本での指導方法紹介

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
理科実験器具等

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長(女性 50歳代) 理数科教師(女性7名、男性8名 20~40歳代) その他の教師多数	5) 業務使用言語 ◎ ベンガル語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (V/N:) □ (V/N:)
---	--------------------------------------	--

資格条件
条件(資格、免許、性別)及びその理由
・教諭免許 中・理数
性別理由:
学歴理由:
経験理由:
理由:
理由:

活動用交通手段の必要性 ○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車	研修等	形態	現職教員特別参加制度 ×
-----------------------------------	-----	----	-----------------

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況 気候(亜熱帯モンスーン) 気温(10~40℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 7 日

要請番号(JL 066 - 09 - B - 03)

調査者名: 中川 朋子

国名	職種 / 指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
スリラン カ	職種 理数科教師 指導科目	○ 新規 ● 交替 2 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	22 / 1
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	22 / 2
	3			22 / 3	

プログラム番号・名: 初等教育プログラム
 プロジェクト名:

配属先概要

1) 受入省庁名(日本語) ウバ州教育省
 (受入機関名)(英語) Provincial Ministry of Education, UVA Provincial Council

2) 配属先名 (日本語) バンダーラウエラ教育事務所
 (英語) Zonal Education Office Bandarawela

3) 任地 バドゥッラ県バンダーラウエラ
 首都(スリジャワラガガラ) から 東 方向 200 Km
 主要都市(バンダーラウエラ) までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.1 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 各州とも州政府の下に州政府教育省があり、州内はいくつかの教育地域に分けられ、各地域には教育事務所に設置されている。各地域の公立小・中・高等学校の人事や予算、教育内容に関する管理、指導は教育事務所に任されている。バンダーラウエラ教育事務所管轄の学校は約140校、生徒数は4万人、教師数は2700人である。

要請概要

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 2005年～2008年まで実施されたJICA学校運営改善プロジェクトと連携して現在1名の隊員が派遣されている。同隊員は同プロジェクトが残したリソースを活用し、同プロジェクトの対象となった地域を中心に草の根で理数科教育の質の向上を目指している。主な活動としては、数学における理解促進のための補習指導、反復演習教材作成等があげられる。現在派遣中の隊員は数学を主体とした活動を行っており、前任者の活動を引き継ぎさらに巡回指導校を拡大し数学教育の質の向上を図るため、後任の要請が上げられた。限られた予算の中でクリエイティブに活動を行い、前任者や他地域の同プロジェクト連携隊員との積極的な情報共有が求められる。

2) 期待される具体的業務内容
 JICAプロジェクトのリソースを活かし、前任者の理数科教師隊員や配属先関係者と協議しながら、数学を中心に主に以下の活動を行う。
 1. 赴任当初は、JICAプロジェクトの内容と現場での浸透状況を把握すると共に、指導主事及び配属先関係者と学校を巡回し、任国の教育事情、教育システムの理解に勤める。
 2. 巡回校を決定し、主に小・中学生を対象に理数科教育向上のための活動を行う。
 3. 教育事務所内での週1回のミーティングや管轄地域の学校視察、教師会、父母会等へ参加し情報共有、助言を行う。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 教育事務所内執務スペース、巡回指導先学校(黒板、チョーク、机、いす)

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 同僚:教育事務所所員、指導主事(17名)等
 指導対象者:小中学校教師(多数)

5) 業務使用言語
 ● シンハラ語 ()
 ○ ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル:)
 (レベル:)

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

・教諭免許 中・数 性別理由:

・学歴 大卒 学歴理由: 対象者が教員のため

・経験 実務経験 2年以上 経験理由: 生徒や教員を指導するため

理由:

理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概況

概況 気候(熱帯モンスーン) 気温(28-32℃位) 電気安定 不安定 なし
 電話インターネット可 通話可 不良 なし 水道安定 不安定 なし

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 7 日

要請番号(JL 066 - 09- B - 04)		調査者名: 中川 朋子				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
スリラン カ	職種 理数科教師 (コード 6901)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV		
	指導科目			1	22 / 1	日系/短期等 年 月 から
	職種(英) Science & Mathematics Education			2	22 / 2	
指導科目(英)	3	22 / 3				
プログラム番号・名 初等教育プログラム		プロジェクト名				
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) ウバ州教育省 (受入機関名)(英語) Provincial Ministry of Education, UVA Provincial Council					
	2) 配属先名 (日本語) バンダーラウエラ教育事務所 (英語) Zonal Education Office Bandarawela					
	3) 任地 バドゥツラ県バンダーラウエラ 首都(スリジャワラパラコッ)から 東 方向 200 Km 主要都市(バンダーラウエラ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.1 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 各州とも州政府の下に州政府教育省があり、州内はいくつかの教育地域に分けられ、各地域には教育事務所が設置されている。各地域の公立小・中・高等学校の人事や予算、教育内容に関する管理、指導は教育事務所に任されている。バンダーラウエラ教育事務所管轄の学校は約 140 校、生徒数は 4 万人、教師数は 2700 人である。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 2005年~2008年まで実施されたJICA学校運営改善プロジェクトと連携して現在1名の隊員が派遣されている。同隊員は同プロジェクトが残したリソースを活用し、同プロジェクトの対象となった地域を中心に草の根で理数科教育の質の向上を目指している。主な活動としては、理解促進のための補習指導、反復演習教材作成、授業視察等があげられる。現在派遣中の隊員は数学を主体とした活動を行っているが、加えて理科の実験を中心とした支援活動が求められており、新規に要請が上げられた。限られた予算の中でクリエイティブに活動を行い、前任者や他地域の同プロジェクト連携隊員との積極的な情報共有が求められる。					
	2) 期待される具体的業務内容 JICAプロジェクトのリソースを活かし、前任者の理数科教師隊員や配属先関係者と協議しながら、理科を中心に主に以下の活動を行う。 1. 赴任当初は、JICAプロジェクトの内容と現場での浸透状況を把握すると共に、指導主事及び配属先関係者と学校を巡回し、任国の教育事情、教育システムの理解に努める。 2. 巡回校を決定し、主に小・中学生を対象に理科教育向上(主に実験分野)のための活動を行う。 3. 教育事務所内での週1回のミーティングや管轄地域の学校視察、教師会、父母会等へ参加し情報共有、助言を行う。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教育事務所内執務スペース、巡回指導先学校(黒板、チョーク、机、いす)					
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚: 教育事務所所員、指導主事(17名)等 指導対象者: 小中学校教師(多数)		5) 業務使用言語 ● シンハラ語 () ○ ()		6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・教諭免許 中・理 性別理由: ・学歴 大卒 学歴理由: 対象者が教員のため ・経験 実務経験 2年以上 経験理由: 生徒や教員を指導するため 理由: 理由:					
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度	
○ 有 ● 無 ○ 車輦 ○ 単車 ○ 自転車					x	
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)						
概 地 域	気候(熱帯モンスーン) 気温(28-32℃位)		電気(☑安定 □不安定 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)		
	電話(インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)					

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○BSV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 7 日

要請番号(JL 066 - 09 - B - 05)

調査者名: 中川 朋子

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
スリラン カ	職種 理数科教師 指導科目	○新規 ●交替 2 代目	●2 年 ○1 年 ○ ヶ月	1	22 / 1
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	22 / 2
				3	22 / 3

プログラム番号・名: 初等教育プログラム
 プロジェクト名:

1) 受入省庁名(日本語) 北西部州教育省
 (受入機関名)(英語) Provincial Ministry of Education, North Western Provincial Council

2) 配属先名 (日本語) クルネーガラ教育事務所
 (英語) Zonal Education Office Kurunegala

3) 任地 クルネーガラ県クルネーガラ
 首都(スリジャヤワルダナプラコッタ)から 北東 方向 65 Km
 主要都市(クルネーガラ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.1 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 各州とも州政府の下に州政府教育省があり、州内はいくつかの教育地域に分けられ、各地域には教育事務所が設置されている。各地域の公立小・中・高等学校の人事や予算、教育内容に関する管理、指導は教育事務所に任されている。クルネーガラ教育事務所管轄の学校は約120校、生徒数は約7万人、教師数は3900人である。教員に対するトレーニングはGTZ等が支援した実績がある。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 2005年~2008年まで実施されたJICA学校運営改善プロジェクトと連携して現在1名の隊員が派遣されている。同隊員は同プロジェクトが残したリソースを活用し、同プロジェクトの対象となった地域を中心に草の根で理数科教育の質の向上を目指している。主な活動としては、小学校教諭を対象とした100ます計算の普及・指導・助言、理解が遅い生徒への指導、教材作成等があげられる。クルネーガラ教育事務所の管轄する地域は広大であり学校数も多い。そのため引き続き現在派遣中の隊員の活動を継続し、新たに活動範囲を拡大するため要請が上げられた。現在小学校教諭の要請が上がっており、両者の積極的な情報共有が求められる。

2) 期待される具体的業務内容
 JICAプロジェクトのリソースを活かし、前任者の理数科教師隊員や派遣予定の小学校教諭と情報共有を行いながら、職場のニーズに柔軟に対応し、以下を中心に活動を行う。
 1. 赴任当初は、JICAプロジェクトの内容と現場での浸透状況を把握すると共に、指導主事及び配属先関係者と学校を巡回し、任国の教育事情、教育システムの理解に努める。
 2. 配属先関係者と協議し巡回校を決定し、主に1~9年生を対象に補習授業の実施、教材作成等を行う。
 3. 教育事務所での週1回のミーティングや学校での定期的な教師会、父母会へ参加し情報共有、助言を行う。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 教育事務所内執務スペース、巡回指導先学校(黒板、チョーク、机、いす)

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚: 教育事務所所員、指導主事(30名)等 指導対象者: 小中学校教師(多数)	5) 業務使用言語 ● シンハラ語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (V/N:) □ (V/N:)
---	--------------------------------------	--

資格条件
 条件(資格、免許、性別)及びその理由
 ・教諭免許 中・理数 性別理由:
 ・学歴 大卒 学歴理由: 対象者が教員のため
 ・経験 実務経験 2年以上 経験理由: 生徒や教員を指導するため
 理由:
 理由:

活動用交通手段の必要性 ○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車	研修等	形態	現職教員特別参加制度 ×
-----------------------------------	-----	----	-----------------

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(熱帯モンスーン) 気温(28-32℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 況域 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 17 日

要請番号(JL 112 - 09- B - 01)

調査者名: 村上隆幸

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
マーシャル	職種 理数科教師	○新規 ●交替 9 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1
	指導科目			2	22 / 2
	職種(英) Science & Mathematics Education			3	22 / 3
ル	指導科目(英)				年 月 から

プログラム番号・名 1120000000008 プロジェクト名
 基礎教育・情操教育改善

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) アサンプション高校 (英語) Assumption High School
	3) 任地 マジュロ環礁ウリガ地区 首都(マジュロ)から 北 方向 0 Km 主要都市(マジュロ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同校は米国のWASC(Western Association of School and College)に承認された伝統あるカトリック系私立高校で、同敷地内に小学校も併設されている。9~12年生(15~18歳)の生徒数は約120名、教師12名で、マーシャル人以外に米国やフィジー、フィリピンなどからの教師が勤務している。過去に草の根無償資金協力により校舎が建設され、またJOCV(音楽)が活動中。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 米国への留学時に単位が認証される高等学校であるが、現地教師の能力・指導技術が不足しており他教科と比較して理数科分野の学力低迷が問題である。現在活動中の隊員は9・11・12年生の理科を担当しており、授業計画・実施、試験問題の作成・評価までを行っている。配属先が採用している年間授業計画の実施と定着及び改善が引き続き必要であり、後任の要請となった。生徒への直接の指導が主な活動となるが、生徒に質の良い授業を提供することにより将来の教員となる人材を育成することが長期的な目標として上げられる。		
	2) 期待される具体的業務内容 理数科担当教師として以下のことが期待されている。 1. 9~12年生(15~18歳)の生徒を対象に数学の授業を週20~25時限担当する(1時限45分間)。状況によって理科を担当することもあるが、その場合は指導可能な科目等、配属先と相談のうえ決定する。 2. 教育省が毎年実施している全国数学学カテスト「マスコンペティション」の配属先参加に当たり、計画・実施に協力する。 3. 理数科担当の同僚教師と協力し、校内ワークショップ等、授業改善や教授力向上を目指した活動を実施する。 4. 課外活動等の実施も期待されている。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コピー機、印刷機、パソコン(Windows2000 および XP英語版)		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長、女性、40代 副校長1名、男性、30代	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (マーシャル語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	学歴理由: 配属先からの要望	
	経験理由:	
	理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(海洋性熱帯気候) 気温(28℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21年 7月 17日

要請番号(JL 112 - 09 - B - 02)

調査者名:村上隆幸

国名	職種 / 指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
マーシャル	職種 理数科教師	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	22 / 1
	指導科目			2	22 / 2
	職種(英) Science & Mathematics Education			3	22 / 3
	指導科目(英)				年 月 日から

プログラム番号・名 1120000000008 プロジェクト名
基礎教育・情操教育改善

配属概要	1)受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2)配属先名 (日本語) クワジェリン高校 (英語) Kwajalein High School
	3)任地 クワジェリン環礁グジグ地区 首都(マジュロ)から 北西 方向 440 Km 主要都市(イバイ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同校は2004年に設立された同国で最も新しい、同環礁で唯一の公立高校である。同国第2の都市イバイから7-8km離れたのどかな地区にあり、生徒数は約300名、教師数は14名で、全生徒と一部の教師はイバイから毎日スクールバスで通っている。現地教師の他に、米国人やフィリピン人の契約教師が勤務し、また米国のWorld Teach Volunteerが英語を担当している。年間予算は約2万ドル約190万円。

要請概要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国では理数科目を適切に指導できる知識・技術を有する現地教員が非常に少なく、教育省は現地教員の再教育に力を入れているが未だ改善には至っていない。そのような状況下で、教育省は外国からの契約教員等で不足を補っているが、授業の内容や指導法について問題点は多い。配属先においても理数科目の現地教師は少なく、理数科目の学力停滞が大きな課題となっている。生徒に対して適正な指導技術によって質の高い授業を提供し、同時に学校の理数科目全体のレベルアップにつながる活動を目的に、本新規要請がなされた。
	2)期待される具体的業務内容 理数科担当教師として以下のことが期待されている。 1. 9~12年生(15~18歳)の生徒を対象に数学の授業を週20-25時間担当する(1時限50分間)。状況によって理科を担当することもあるが、その場合は指導可能な科目等、配属先と相談の上決定する。 2. 教育省が毎年実施している全国数学学力テスト「マスコンペティション」の配属先参加に当たり、計画・実施に協力する。 3. 理数科担当の同僚教師と協力し、校内ワークショップ等、授業改善や教授力向上を目指した活動を実施する。 4. 課外活動等の実施も期待されている。
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コピー機、デスクトップPC(Windows XP 英語版)、デュプロ印刷機

資格条件	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長 男性 50代 副校長 男性 50代 教師 14名(男性6名 女性8名 35-47歳 ほとんどが短大卒)	5)業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (マーシャル語)	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
------	---	--	---------------------------------------

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
	・学歴 大卒 理系	学歴理由:配属先からの要望
		経歴理由:
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

概地域況	気候(海洋性熱帯気候) 気温(28℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 17 日

要請番号(JL 112 - 09 - B - 03)

調査者名: 村上隆幸

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
マーシャル	職種 理数科教師 (コード 6901)	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1
	指導科目			2	22 / 2
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			3	22 / 3
					年 月 から

プログラム番号・名 1120000000008 プロジェクト名
 基礎教育・情操教育改善

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) ファーザーヘッカー高校 (英語) Fr. Hacker High School
	3) 任地 クワジェリン環礁グジグ地区 首都(マジュロ)から 北西 方向 440 Km 主要都市(イバイ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同校は1979年に設立されたカトリック系の私立高校である。同国第2の都市イバイから7-8km離れたのどかな地区にあり、生徒数は約80名、スタッフ数は14名(うち教師は校長・副校長含めて7名)で、全生徒と一部教師はイバイからスクールバスで通っている。イバイ市内に同系小学校がある。年間予算は約2万5千ドル(約240万円)で、外国人教師はフィジー人個人ボランティア1名が活動中。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国では理数科目を適切に指導できる知識・技術を有する現地教員が非常に少なく、教育省は現地教員の再教育に力を入れているが未だ改善には至っていない。同校はほとんどマーシャル人によって運営され、また公立校に比べて外部の支援を受けにくい状況にあり、教師の技術力・指導力向上の機会が少ない。このため特に生徒の理数科目の学力低迷は深刻である。生徒に対して適正な指導技術によって質の高い授業するとともに、同僚教師に対してもワークショップや個別指導などで技術力・指導力向上を図ることが出来る人材が必要不可欠として、JOCVが新規要請された。		
	2) 期待される具体的業務内容 理数科担当教師として以下のことが期待されている。 1. 9~12年生(15~18歳)の生徒を対象に数学の授業を週20-25時限担当する(1時限45分間)。 状況によって理科を担当することもあるが、その場合は指導可能な科目等、配属先と相談の上決定する。 2. 教育省が毎年実施している全国数学学力テスト「マスコンペティション」の配属先参加に当たり、計画・実施に協力する。 3. 理数科担当の同僚教師と協力し、校内ワークショップ等、授業改善や教授力向上を目指した活動を実施する。 4. 課外活動等の実施も期待されている。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コピー機、デスクトップPC(Windows XP 英語版)、デュプロ印刷機		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教師(校長・副校長含む) 7名 全員男性 26-50歳 うち2名が大卒(文系)、3名が短大卒(文系)	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (マーシャル語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (V/N:) □ (V/N:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由
	性別理由:
	学歴 大卒 理系
	学歴理由: 配属先からの要望
	経験理由:
理由:	
理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
 概地 気候(海洋性熱帯気候) 気温(28℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 7 日

要請番号(JL 115 - 09 - B - 04)

調査者名: 旦 育子

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ミクロ シア	職種 理数科教師	○新規 ●交替 3代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1
	指導科目			2	22 / 2
	職種(英) Science & Mathematics Education			3	/
	指導科目(英)				年 月 から

プログラム番号・名 1150000000007

プロジェクト名

基礎教育改善プログラム

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) ポンペイ州教育局 (受入機関名)(英語) Pohnpei State Government, Department of Education
	2)配属先名 (日本語) ポンペイ州教育局 (英語) Department of Education in Pohnpei
	3)任地 ポンペイ州コロニア 首都(パリキール)から 北東 方向 10 Km 主要都市(コロニア)までの交通手段及び所要時間(自転車 で約 0.1 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ポンペイ州の初等・中等教育レベル向上の支援、ワークショップ開催(主に算数と英語)、統一学力試験の作成・実施、スポーツイベント開催、教師対象の講習、学校年間カリキュラムの策定・改訂などを行っている。正・臨時職員合わせて約55名、うち各教科スペシャリストが8名いる。米国World Teach Programからボランティアが派遣されており、英語教育に力を入れている。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補充短期ボランティアの場合は補充対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 大洋州およびミクロネシア三国では、初等・中等教育レベル向上と教員研修の改善・強化が課題となっている。隊員の同僚である算数スペシャリストは初代隊員以来、隊員と連携した活動を行い、2006年JICA初等・中等教育向上研修(鳴門教育大学)に参加、2007年以降ミクロネシア三国算数初等教育広域研修にも、毎年隊員とともに参加している。2008年6月から派遣の隊員は州内の小学校訪問、全州統一テスト問題作成への助言、全州統一教員テスト不合格者への講習、同州高校入学試験不合格者に対する講習などを同僚とともに実施している。算数スペシャリストと隊員との共働により成果をもたらしていることから、後任要請がなされた。		
	2)期待される具体的業務内容 ・ポンペイ州統一学力テスト作成に係る助言を行う。 ・同僚と共に、ポンペイ州における算数ワークショップの企画・開催を行う。 ・同僚と共に、ポンペイ州教員を主体とした公開授業を開催する。 ・同僚と共に、教科書に沿った教材の作成・活用方法について教員に指導する。 ・ポンペイ州内の学校授業を視察し、授業法についての助言や授業デモを行う。		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コピー機、プリンターなど		
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教育局長(50代、ポンペイ人男性) 同僚 (50代、ポンペイ人男性)	5)業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6)選考指定言語 ☑ 英語 (い・ん:) □ (い・ん:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	・教諭免許 中高・数	性別理由:
		学歴理由:
		経歴理由:
		理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

概 地 況 域	気候(熱帯性海洋気候) 気温(25~33℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○BSV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 13 日

要請番号(JL 124 - 09 - B - 04)	調査者名: 白築 健
------------------------------	------------

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
パプア ニューギ ニア	職種 理数科教師 指導科目 (コード 6901)	○新規 ◎交替 2 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	22 / 3
				3	22 / 2

プログラム番号・名 1240000000002 プロジェクト名 初等・中等教育改善プログラム

配属先概要

1) 受入省庁名(日本語) 東ニューブリテン州教育局
(受入機関名)(英語) Division of Education, East New Britain Provincial Administration

2) 配属先名 (日本語) セントジョセフ カレオ デモンストレーション小学校
(英語) St. Josehp Kabaleo Demonstration Primary School

3) 任地 ココボ
首都(ポートモレスビー)から 北東 方向 800 Km
主要都市(ココボ市内)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.3 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
カトリック教会系の公立小学校で、隣接するOLSHガバレオ教員養成校の教育実習校でもある。現在、日本の小学3年から中学2年に相当する3年生から8年生を対象に基礎教育を行っている。教員数18人、児童生徒数約700人。年間予算は、120,000キナ(約450万円)。2008年7月からJOCV(理数科教師)が活動中である。

要請概要

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
1994年の学制改革を受け、同校はコミュニティースクール(1学年から6学年)からプライマリースクール(3学年から8学年)に移行された。同じ小学校の教員が7学年と8学年の学習内容も指導することになったが、特に数学・理科において十分な知識や指導経験を持った教員が絶対的に不足しており、理数科教育の質の向上を図るためJOCVの要請がなされた。九九や小数・分数など児童生徒の基礎計算能力の低さも課題となっている。高学年(7学年から8学年)の理科や数学の授業を受け持つと同時に、同僚教師への教科知識や指導法の助言も求められている。

2) 期待される具体的業務内容
校長や同僚教師の要望を聞きながら、次のような業務を進める。
1. 主に高学年(7学年から8学年)を対象に理科や数学の授業を実施する。
2. 同僚教師とともに校内研修を企画運営する。
3. 身近な素材を使った理科実験の紹介・普及を行う。
4. 同任地の理数科教師JOCVやSV(要請中)と連携し、授業研究会や実験紹介会などを企画運営する。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
理科実験室、実験器具、薬品類など。予算上の制約から十分な設備・備品は望めず、自然にある物、廃材などを有効活用した理科実験の開発・紹介が求められている。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
校長、教頭、教員15人

5) 業務使用言語
◎ 英語 ()
○ その他 (ビジネ)

6) 選考指定言語
☒ 英語 (ハル:)
☐ (ハル:)

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別 男性 性別理由: 安全対策上

学歴 大卒 理系 学歴理由: 日本の中学生レベルの理数科を指導するため
経験理由:
理由:
理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(熱帯雨林) 気温(25-35℃位) 電気(☒安定 ☐不安定 ☐なし)
気域 電話(☒インターネット可 ☒通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☒安定 ☐不安定 ☐なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 13 日

要請番号(JL 124 - 09- B - 05)

調査者名: 白築 健

国名	職種/指導科目	区分	派遣希望期間	派遣希望時期		
パプア ニューギ ニア	職種 理数科教師 (コード 6901)	(長期のみ)	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月 3 代目	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目	○ 新規		1	22 / 1	年 月 から
	職種(英) Science & Mathematics Education	● 交替		2	22 / 2	
指導科目(英)		3	22 / 3			

プログラム番号・名 1240000000002 プロジェクト名
 初等・中等教育改善プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) ウェスタン州教育局 (受入機関名)(英語) Division of Education, Western Provincial Administration
	2) 配属先名 (日本語) タブビル高校 (英語) Tabubil High School
	3) 任地 タブビル 首都(ポートモレスビー)から 北西 方向 800 Km 主要都市(タブビル市内)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 銅鉱山のために開発された町に設立された生徒数約450人の男女共学普通科高校。職員数は20人。日本での中学3年から高校1年に相当する9年・10年生を受け入れている。年間予算は、550,000キナ(約2,000万円)。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国において理数科教師不足は深刻であり、教師数が足りている場合でも多くの教師の質は低い。ウェスタン州は最も開発が遅れ、教育水準の低い地域の1つである。物資の多くを首都から船で輸送しており、輸送コストの反映による物価高のため、同地域に赴任を希望する教師は多くない。理数科の教育水準の底上げを図るべく後任要請が出された。通常の授業を受け持つほか、同僚教師への教科内容の指導、理科や数学の教授法の紹介が期待されている。同国は多様な自然に恵まれ、生物や地学など観察や実験の素材は豊富である。身近にある物や廃材を活用する、また実験器具を自作するなどの創意工夫が求められている。		
	2) 期待される具体的業務内容 校長や同僚教師の要望を聞きながら、次のような業務を行う。 1. 9、10年生の数学・理科・コンピューター(基礎)の授業を週20-30時間担当する。 2. 同僚教師を対象として、教科内容、教授法、理科実験、コンピューターの使用法などを指導する。 3. 同僚教師とともに2008年度より実施される新カリキュラムに即した教授内容・方法を検討する。 4. 日直など学校の業務を同僚教師とともに分担する。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 理科実験室2室、実験器具や薬品(少量)、コンピューター8台、プリンター、コピー機、ファクシミリ		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長 男性 50歳代 教員数16人 うち数学教師1人、理科教師3人	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (ビジネ)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	・性別 男性	性別理由: 安全対策上
	・学歴 大卒 理系	学歴理由: 高校レベルの理数科を指導するため 経験理由:
		理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

概 地 況 域	気候(熱帯雨林) 気温(20-30℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 21 年 6 月 13 日

要請番号(JL 124 - 09 - B - 06)

調査者名: 白築 健

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
パプア ニューギ ニア	職種 理数科教師 (コード 6901) 指導科目	○新規	◎2年	1	22 / 1
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)	◎交替	○1年	2	22 / 3
		3代目	○ヶ月	3	22 / 2

プログラム番号・名 1240000000002 プロジェクト名
 初等・中等教育改善プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) ウェスタン州教育局 (受入機関名)(英語) Division of Education, Western Provincial Administration
	2) 配属先名 (日本語) キウंगा高校 (英語) Kiunga Secondary School
	3) 任地 キウंगा 首都(ポートモレスビー)から 北西 方向 720 Km 主要都市(キウंगा市内)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同校は日本の中学3年から高校3年に相当する9年生から12年生を受け入れている男女共学普通学校。生徒数は約900人。教員数は34人。年間予算は900,000キナ(約3400万円)。2004年からJOCV(理数科教師、コンピュータ技術)を受け入れている。過去にはVSO(イギリス)ボランティアの受け入れ実績もある。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国において理数科教師不足は深刻であり、教師数が足りている場合でも多くの教師の質は低い。ウェスタン州は最も開発が遅れ、教育水準の低い地域の1つである。物資の多くを首都から船で輸送しており、輸送コストの反映による物価高のため、同地域に赴任を希望する教師は多くない。理数科の教育水準の底上げを図るべく後任要請が出された。通常の授業を受け持つほか、同僚教師への教科内容の指導、理科や数学の教授法の紹介が期待されている。同国は多様な自然に恵まれ、生物や地学など観察や実験の素材は豊富である。身近にある物や廃材を活用する、また実験器具を自作するなどの創意工夫が求められている。		
	2) 期待される具体的業務内容 校長や同僚教師の要望を聞きながら、次のような業務を行う。 1. 9年から12年生の数学・理科の授業を週20-30時間程度担当する。 2. 同僚教師を対象として、教科内容、教授法、理科実験、コンピュータ(基礎)の使用法などを指導する。 3. 同僚教師とともに2008年度より実施される新カリキュラムに即した教授内容・方法を検討する。 4. 日直など学校の業務を同僚教師とともに分担する。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 理科実験棟2棟。各棟に理科実験室が2教室ずつある。化学薬品、顕微鏡、天秤、力学台車、電流計、電圧計など。		

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別 男性 性別理由: 安全対策上
	・学歴 大卒 理系	学歴理由: 高校レベルの理数科を指導するため
		経験理由:
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輜 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
 概地域 気候(熱帯雨林) 気温(25-35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21年 7月 7日

要請番号(JL 127 - 09 - B - 04)

調査者名: 菱田 靖

国名	職種 / 指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ソロモン	職種 理数科教師 指導科目	○新規 ●交替 3代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	22 / 3
	3			/	

プログラム番号・名 1270000000002 プロジェクト名
 基礎教育改善

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 教育・人的資源開発省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education and Human Resources Development
	2)配属先名 (日本語) ングビア中高校 (英語) Nguvia Community High School
	3)任地 テレ 首都(ホニアラ)から 東 方向 20 Km 主要都市(ホニアラ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 中高校には1年生から7年生までの学年があり、3年生までが日本の中学生、4年生以降が日本の高校レベルとなる。3年生と5年生には進学試験がある。同校はコミュニティにより設立された学校であり、1年生から5年生までの約250名が通学、教員の数は14名。学校運営費の半分は、他校と同様にEUが支援している。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ソロモン諸島では学校の新增設があいつぎ、教員不足が深刻な問題になっている。特にコミュニティ学校は州立学校に比べ予算・施設面でハンディがあり教員の確保にも苦労している。同校でも理科教師2名、数学教師4名(他の科目とも兼任)と不足しており、理数科教師の確保が緊急課題となっていることから、後任の要請となった。前任は1・3年の理科を週に2コマ担当した。また課外活動(スポーツおよび文化活動)にも携わった。		
	2)期待される具体的業務内容 1. 1週間に25コマ程度の理科あるいは数学の授業を担当する。 2. 授業は英語でおこなう。 3. 同僚教師との話し合いにより、担当科目およびクラスを決める。 4. 毎年、教師の異動が多く、担当する科目も変わる。 5. 課外活動(スポーツあるいは文化活動)ができれば望ましい。		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 理科室あり。理科に必要な基本的器具(ピーカー、上皿天秤、磁石など)はほとんど揃っている。		
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚:理科教師2名、数学教師4名 指導対象:中学高校生	5)業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (ビジン英語)	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	学歴 大卒 理系	学歴理由: 高校レベルの理数科科目を指導するため
	経験理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
 概地 気候(熱帯雨林) 気温(28-33℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
 況域 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 1 月 9 日

要請番号(JL 139 - 09 - B - 10)

調査者名: 川畑 康代

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
サモア	職種 理数科教師 (コード 6901)	○新規 ●交替 6 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	22 / 1	年 月 から
	職種(英) Science & Mathematics Education			2	22 / 2	
指導科目(英)	3	22 / 3				

プログラム番号・名 1390000000003

プロジェクト名

基礎教育改善

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 財務省 (受入機関名)(英語) Ministry of Finance
	2) 配属先名 (日本語) ポールVIカレッジ (英語) Paul VI College
	3) 任地 レウルモエガ 首都(アピア)から 西 方向 30 Km 主要都市(アピア)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) カトリック大司教教育システムに属するカレッジの1校で、生徒数約200名、年間予算約2,700万円。現在、7~12年生(10~18歳)までが通学し、英語、数学、地理、農業、家政、木工、国語、理科、社会、宗教、体育、会計学、音楽、コンピュータを学んでいる。また同校は来年度から新たに13年生のクラスを開講予定である。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) サモアの初中等教育は1~8年生(5~13歳)の義務教育、及び9~13年生(14~19歳)の中等教育に分かれている。中等教育に進学する生徒の大多数は12年生で学業を終えるが、成績優秀者は13年生の教育を許可された学校に進むことができる。これまで同校では12年生までを受入れ、卒業生は近隣の私立学校で13学年を修了していた。しかし、当該私立学校が13学年クラスを閉鎖することになった。卒業生の学業継続の道が絶たれる恐れがでてきたため、配属先では、新たに自校で13学年を開講することを決定した。新学年開設にあたり能力ある教師の確保を進めているが、人材不足は否めず隊員の要請に至った。		
	2) 期待される具体的業務内容 ・配属先で11年生~13年生までの数学を担当し、英語で授業を行う。 ・教育省が行っている基礎教育理数科改善プロジェクトと連携し、特に数学における他の学校への巡回指導や現職教員研修での模擬授業を行う。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ・教材作成用のPC、プリンター、コピー機(すべて共有) ・職員室内の共有機		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教員数15名 同僚数学教師:女性、40代前半	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	・教諭免許 中高・数	性別理由:
	・学歴 大卒 理系	学歴理由: 配属先が提示する条件
	・経歴 指導経験 2年以上	経歴理由: 配属先が提示する条件
	理由:	
	理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
 概地 気候(熱帯海洋性) 気温(25-32℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 況域 電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 16 日

要請番号(JL 166 - 09 - B - 01)

調査者名: 武市直己

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
パラオ	職種 理数科教師 (コード 6901)	○ 新規 ● 交替 4 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	22 / 1	年 月 から
	職種(英) Science & Mathematics Education			2	22 / 2	
指導科目(英)	3	22 / 3				

プログラム番号・名 1660000000011 プロジェクト名
基礎教育改善

1) 受入省庁名(日本語) 教育省
(受入機関名)(英語) Ministry of Education

2) 配属先名 (日本語) ベラウ・モデグゲイ高校
(英語) Belau Modekgei School

3) 任地 ガツパン州イボバン村
首都(マルキョクから)から 西 方向 20 Km
主要都市(コロール市内)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.7 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
パラオ固有の宗教であるモデグゲイ教会と地域コミュニティが運営母体となっている4年制(9~12年生)(14~18歳)の私立高校で、男女共学。生徒数は40~50人。パラオ政府教育省からの援助も受けている。生徒は宗教に関係なく広く集められている。年間予算は約140千ドル(約1,338万円)。現在米国平和部隊のボランティアが英語教師として一名活動している。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
配属先はバベルダオブ本島のガツパン州イボバン村にある高校で、経営母体が小さいことから教員数が少なく、各教師が複数教科を受け持ちながら授業を運営している。その中で隊員は主に数学・自然科学の授業を担当し、そのほかにも体育や課外授業の実施も期待されている。また、小さなコミュニティー(村民約80人)が運営に大きく参加している高校であるため地域のイベントに参加したり村の小学校との交流も多い。前任者は学生に自然科学に興味を持たせるよう努力し、環境問題への取り組みとしてごみ処理センターの見学するなどの課外授業を実施したり、野球部を創設して全国大会に出場するなどの活動も積極的に行ってきた。

2) 期待される具体的業務内容
・主に新入学生(9年生)の数学、自然科学の授業を受け持つ。
・自然科学については実験器具が豊富ではないが、授業内容や教材を工夫し、実験を取り入れた授業を行う。
・体育の授業の補佐や課外授業の計画をたて実施する。
・隊員は生徒と同じ寄宿舎(バンガロータイプの個室部屋)に生活し、授業時間以外でも生徒と時間を共にする。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
コンピューター(Dell, Gateway, Macintosh)、コピー機、ファックス機、プロジェクターがある。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
学校職員は15名(うち教科教員は6名、他職業訓練教員、農場管理員、校長他管理職員)
カウンターパートは50代の理数科教員2名(男性および女性)

5) 業務使用言語
● 英語
()
○ その他
(パラオ語)

6) 選考指定言語
☑ 英語 (レベル:)
□ (レベル:)

資格条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
学歴理由: 理数科教員として授業を実施するため
経歴理由: 理数科教員として授業を実施するため
理由:
理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車		N	×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概況
気候(海洋性熱帯気候) 気温(25~30℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21年 1月 4日

調査者名: 岩田 章一・長谷 宏司

要請番号(JL 506 - 09 - B - 15)						
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
エチオピア	職種 理数科教師 (コード 6901)	○新規 ●交替 2代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV		
	指導科目			1	22 / 1	日系/短期等 年 月 から
	職種(英) Science & Mathematics Education			2	22 / 2	
指導科目(英)	3	22 / 3				

プログラム番号・名: 教育改善プログラム
プロジェクト名: 理数科教師育成プロジェクト

配属先概要

1) 受入省庁名(日本語) オロミア州教育局
(受入機関名)(英語) Oromia Region State, Bureau of Education

2) 配属先名 (日本語) ダンディ・グナ中学校
(英語) Dandi Gudina General High School

3) 任地 メタハラ
首都(アジスアベバ)から 南東 方向 300K Km
主要都市(アジスアベバ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
同中学校は、地域の遊牧民への自立支援を主な業務にしている地元NGOにより2003年に設立された。現在は政府に譲渡されて政府系中学校(Grade9/10)になっている。生徒数は520名、教師数は15名だが、今後は増加する見込みである。

要請概要

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
同国は近年、理数科教育を重視した政策を取っているが、授業に実験を取り入れる技術を持った教師が少なく、また教師の質の問題もあり、多くの生徒は理数科科目に興味を持たずにいる。生徒の興味を喚起するような実験技術を同校の理数科教師と共に向上させること求められている。前任者は、2008年9月より活動を開始し、Grade10の全クラス(4クラス週20コマ+補講6コマ程度)の数学を担当している。JICAは、首都及びアムハラ州へGrade7, 8年生を対象とした理数科教師の複数派遣を計画し、人材育成を目標として長期計画を実施中である。本案件は対象地域とは異なるが、前任者の活動を活かす為、後任要請に至った。

2) 期待される具体的業務内容
1. 理科実験室の整備
2. 理科実験技術を同僚教師と共に向上させる
3. 授業の担当(隊員の赴任後に本人の能力や経験を踏まえて、学校長や担当教科教員などと話し合いの上で決定)。
4. 同校を設立した地元NGOと協力して、奨学生などへの補講の実施
5. 同職種隊員と連携し、現地教員を対象とする教員研修を行う。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
黒板、チョーク、理科実験室

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
教師数15名
数学2名、物理教師1名、化学教師1名、生物1名、ほか

5) 業務使用言語
● 英語
()
○ ()

6) 選考指定言語
☑ 英語 (V/N:)
□ (V/N:)

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

・教諭免許 中・理 性別理由:
・学歴 大卒 理系 学歴理由: 同僚の教師は大卒であるため。
・経験 実務経験 3年以上 経験理由: 教師の指導役にもなるため。
理由:
理由:

活動用交通手段の必要性

○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車

研修等 形態 現職教員特別参加制度

x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域 気候(熱帯高原性気候) 気温(15~33℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
水道(□安定 ☑不安定 □なし)

電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)



平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 20 年 2 月 12 日

要請番号(JL 506 - 09 - B - 20)

調査者名: 岩田章一

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
エチオピア	職種 理数科教師	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	22 / 1
	指導科目			2	22 / 2
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			3	22 / 3

プログラム番号・名: 教育行政キャンパシビルディング
 プロジェクト名: 理数科教師育成

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) アジスアベバ市政府教育局 (受入機関名)(英語) Addis Ababa City Government, Education Bureau
	2) 配属先名 (日本語) メネリク2小学校 (英語) Menelik II Primary School
	3) 任地 アジスアベバ 首都(アジスアベバ)から 北 方向 0 Km 主要都市(アジスアベバ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) アジスアベバ市Aradaサブシティーにある約2600人の生徒が通う小学校(G1~8)。 外国の直接的な援助は同配属先にはない。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国の理数科教育は、設備や道具の不足もさることながら、理論中心の授業で実験などは少なく、さらに、実験を指導できる教員不足が課題となっている。同国教育省は、2006年に30%であった高校の理数科進学率を、2007年には70%、2008年には80%にする方針である。連邦教育省、首都教育局と協議の結果、現状の高校への派遣から、G7/8(日本の中学)への指導及び教員の人材育成を行うことを要請された。対象となる首都の小学校へ理数科教師を複数派遣し、同職種隊員が連携し、協力しながらの活動を予定している。
	2) 期待される具体的業務内容 ①理数科教員として授業を担当する。 ②十分な設備がない中で工夫した授業を示し、生徒の関心を引き出し、同僚教員がそれを実践できるように支援する。 ③将来的には、同市教育局、他の理数科隊員と連携し、現地教員を対象とする教員研修に取り組む。 ④授業に必要な補助教材を作成する。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 簡単な実験機材(ピーカー、フラスコなど)

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長:40歳代(男性) 同僚:物理教師3名、化学教師3名、生物教師3名(高校、短大、大学卒等の20~40代)※教員の異動は多い	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (アムハラ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) ☐ (レベル:)
--	--	--

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
	・教諭免許 中高・理数	学歴理由: 同国の理数科教員は大卒者もいるため
	・学歴 大卒	経歴理由: 授業を実践するため
	・経歴 実務経験 3年以上	理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車		P	×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(熱帯高原性気候) 気温(15-30℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)
電話(☑インターネット可 ☐通話可 ☐不良 ☐なし)	水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)



平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 20 年 2 月 12 日

要請番号(JL 506 - 09- B - 21)

調査者名: 岩田章一

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
エチオピア	職種 理数科教師	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ 月	1	22 / 1
	指導科目			2	22 / 2
	職種(英) Science & Mathematics Education			3	22 / 3
	指導科目(英)				年 月 日

プログラム番号・名: 教育行政キャパシティビルディング
プロジェクト名: 理数科教師育成

配属概要	1) 受入省庁名(日本語) アジスアベバ市政府教育局 (受入機関名)(英語) Addis Ababa City Government, Education Bureau
	2) 配属先名 (日本語) テスハコケベ小学校 (英語) Tesfakokeb Primary School
	3) 任地 アジスアベバ 首都(アジスアベバ)から 北 方向 0 Km 主要都市(アジスアベバ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) アジスアベバ市Lidetaサブシティーにある約3200人の生徒が通う小学校(G1~8)。 外国の直接的な援助は同配属先にはない。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国の理数科教育は、設備や道具の不足もさることながら、理論中心の授業で実験などは少なく、さらに、実験を指導できる教員不足が課題となっている。同国教育省は、2006年に30%であった高校の理数科進学率を、2007年には70%、2008年には80%にする方針である。連邦教育省、首都教育局と協議の結果、現状の高校への派遣から、G7/8(日本の中学)への指導及び教員の人材育成を行うことを要請された。対象となる首都の小学校へ理数科教師を複数派遣し、同職種隊員が連携し、協力しながらの活動を予定している。
	2) 期待される具体的業務内容 ①理数科教員として授業を担当する。 ②十分な設備がない中で工夫した授業を示し、生徒の関心を引き出し、同僚教員がそれを実践できるように支援する。 ③将来的には、同市教育局、他の理数科隊員と連携し、現地教員を対象とする教員研修に取り組む。 ④授業に必要な補助教材を作成する。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 簡単な実験機材(ピーカー、フラスコなど)

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長:40歳代(男性) 同僚:物理教師3名、化学教師3名、生物教師4名(高校、短大、大学卒等の20~40代)※教員の異動は多い	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (アムハラ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) ☐ (レベル:)
--	--	--

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
	・教諭免許 中高・理数	学歴理由: 同国の理数科教員は大卒者もいるため
	・学歴 大卒	経歴理由: 授業を実践するため
	・経歴 実務経験 3年以上	理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車		P	x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概況	気候(熱帯高原性気候) 気温(15-30℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)
地域	電話(☑インターネット可 ☐通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 20 年 2 月 12 日

調査者名: 岩田章一

要請番号(JL 506 - 09 - B - 22)

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
エチオピア	職種 理数科教師 (コード 6901) 指導科目	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	22 / 1
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	22 / 2
			3	22 / 3	年 月 日から

プログラム番号・名 教育行政キャンパシビルディング
 プロジェクト名 理数科教師育成

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) アジスアベバ市政府教育局 (受入機関名)(英語) Addis Ababa City Government, Education Bureau
	2) 配属先名 (日本語) アブネバシリヨス小学校 (英語) Abunebasiliyos Primary School
	3) 任地 アジスアベバ 首都(アジスアベバ)から 北 方向 0 Km 主要都市(アジスアベバ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) アジスアベバ市Kolfe Keranyoサブシティーにある約2700人の生徒が通う小学校(G1~8)。 外国の直接的な援助は同配属先にはない。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国の理数科教育は、設備や道具の不足もさることながら、理論中心の授業で実験などは少なく、さらに、実験を指導できる教員不足が課題となっている。同国教育省は、2006年に30%であった高校の理数科進学率を、2007年には70%、2008年には80%にする方針である。連邦教育省、首都教育局と協議の結果、現状の高校への派遣から、G7/8(日本の中学)への指導及び教員の人材育成を行うことを要請された。対象となる首都の小学校へ理数科教師を複数派遣し、同職種隊員が連携し、協力しながらの活動を予定している。
	2) 期待される具体的業務内容 ①理数科教員として授業を担当する。 ②十分な設備がない中で工夫した授業を示し、生徒の関心を引き出し、同僚教員がそれを実践できるように支援する。 ③将来的には、同市教育局、他の理数科隊員と連携し、現地教員を対象とする教員研修に取り組む。 ④授業に必要な補助教材を作成する。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 簡単な実験機材(ピーカー、フラスコなど)

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長:40歳代(男性) 同僚:物理教師2名、化学教師2名、生物教師2名(高校、短大、大学卒等の20~40代)※教員の異動は多い	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (アムハラ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
--	---	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
	・教諭免許 中高・理数	学歴理由: 同国の理数科教員は大卒者もいるため
	・学歴 大卒	経歴理由: 授業を实践するため
	・経歴 実務経験 3年以上	理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車		P	×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
 概地 気候(熱帯高原性気候) 気温(15-30℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 況域 電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 1 日

要請番号(JL 524 - 09 - B - 18)

調査者名: 大原 健治、内蘭 清

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
マラウイ	職種 理数科教師 (コード 6901)	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	22 / 3	年 月 から
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	/	
		3	/			

プログラム番号・名 5240000000002
中等教育質向上

プロジェクト名 SMASSE連携ボランティアプロジェクト

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 教育科学技術省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education, Science and Technology
	2)配属先名 (日本語) ムワティブ中高等学校 (英語) Mwatibu Community Day Secondary School
	3)任地 ナテンジェ 首都(リロンゲ)から 南東 方向 25 Km 主要都市(リロンゲウエ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.6 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 日本の中学3年生から高校3年生に相当する4年制の中高等学校。1995年に遠距離教育センターとして設立されたが、1999年に中高等学校に変更された。年間予算は約90万円。各学年1クラスずつで、総生徒数は約300名。2009年1月より理数科教師隊員が生物指導で活動中。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 中高等学校における理数科専門教師不足に対処するため質のよい理数科授業の提供が期待されている。 また、現在JICA支援のもと、教育省はこれまで行われていなかった全国での現職理数科教員の研修が定期的に行われるための取り組み(現職理数科教員再訓練: Strengthening of Mathematics and Science in Secondary Education (SMASSE))を開始しており、その一環として地域の学校群(7校程度)単位で行う教員研修会に協力することも期待されている。		
	2)期待される具体的業務内容 1. 配属校において、主に生物を週10ピリオド程度担当する。 2. SMASSEの一環として、以下の活動を通じて学校群内の理数科教育向上を目指す。 (1) 学校群内の他校を定期的に訪問し、同教科の現地教師を授業準備、授業を通してサポートする。 (2) 学校群レベル、学校レベルでの教員研修会の実施を教科技術的にサポートする。(研究授業など) (3) 毎学期後に教育行政区事務所に学校群の研修状況を報告する。 (4) 年1回のSMASSE研修(2週間)に同僚理数科教師と共に参加し、その後の学校巡回時などの参考にする。		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ピーカーなどの基本的な実験器具。実験室や薬品はない。		
資 格 条 件	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層) 及び指導対象者の技術レベル 全教師15名中、理数科専門教師2名 全生徒数約300名(14~20歳、日本の中学および高校レベル)	5)業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (チェワ語)	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 性別理由: 学歴理由: 中高等学校教員は大卒が資格条件のため。 経歴理由: 理由: 理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輦 ○単車 ●自転車	a	P	x

他校訪問に必要

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(サバンナ) 気温(10-30℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
況域 電話(| |インターネット可 ☑通話可 ☑不良 □なし) 水道(□安定 □不安定 ☑なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 1 月 9 日

要請番号(JL 524 - 09 - B - 37)

調査者名: 内 蘭 清

国 名	職 種 / 指 導 科 目 (コード 6901)	区 分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
マラウイ	職種 理数科教師	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ 月	1	22 / 1
	指導科目			2	22 / 2
	職種(英) Science & Mathematics Education			3	22 / 3
	指導科目(英)				年 月 から

プログラム番号・名
 中等理数科質向上プログラム

プロジェクト名

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育科学技術省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education, Science and Technology
	2) 配属先名 (日本語) チンゴンベ中高等学校 (英語) Ching'ombe Community Day Secondary School
	3) 任地 チンゴンベ 首都(リロングウェ)から 南東 方向 15 Km 主要都市(リロングウェ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.4 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 日本の中学3年生から高校3年生に相当する4年生の中高等学校。1999年に設立された。年間予算は約50万マラウイクワチャ(約35万円)。各学年1クラスずつで、総生徒数は約210名。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 中高等学校における理数科専門教師不足に対処するため、質の高い理数科授業の提供が期待されており、JICAボランティアの協力が求められた。 また、教育科学技術省は、JICA支援のもと、これまで行われていなかった全国での現職理数科教員研修の定期的実施への取り組み(現職理数科教員再訓練: Strengthening of Mathematics and Science in Secondary Education(SMASSE))を開始予定であり、その一環として行われる学校群(7校程度)単位の教員研修会をより実のあるものにするために協力することも期待されている。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 配属校において、主に物理と化学を担当する。 2. SMASSEの一環として進行状況に応じて、現地教師のパートナーと共に、以下の活動を行い学校群内の理数科教育向上を目指す。 学校群内の他校を定期的に訪問し、同教科の現地教師を授業準備、授業をサポートする。 学校群レベル、学校レベルでの教員研修会の実施を教科技術的にサポートする。(研究授業など) 毎学期後に教育行政区事務所に学校群の研修状況を報告する。 年1回のSMASSE研修(2週間)に同僚理数科教師と共に参加し、その後の学校巡回時などの参考にする。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 電流計、メスシリンダー、酸性水溶液などの基本的な器具と薬品。 実験室はない。		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 全教師数9名中、物理・化学教師1名 全生徒数約210名(14~20歳、日本の中学及び高校レベル)	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (チェワ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (I・N:) ☐ (I・N:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	・学歴 大卒 理系	学歴理由: 中高等学校教員は大卒が資格条件のため。
		経験理由:
	理由:	
	理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輦 ○単車 ●自転車	a	P	x

地域内の学校を巡回するため

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(サバンナ) 気温(10~30℃位) 電気(☐安定 ☐不安定 ☑なし)
 況域 電話(☐インターネット可 ☑通話可 ☑不良 ☐なし) 水道(☐安定 ☐不安定 ☑なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 8 月 27 日

要請番号(JL 524 - 09 - B - 38)

調査者名: 内 菌 清

国 名	職 種 / 指 導 科 目 (コード 6901)	区 分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
マラウイ	職種 理数科教師 指導科目	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	22 / 1
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	22 / 2
	3			22 / 3	

プログラム番号・名 プロジェクト名
 中等理数科の質向上プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育科学技術省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education, Science and Technology
	2) 配属先名 (日本語) ンボンダス中高等学校 (英語) Mponda's Community Day Secondary School
	3) 任地 ンボンダス 首都(リロングウェ)から 南東 方向 200 Km 主要都市(マンゴチ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.3 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 日本の中学3年生から高校3年生に相当する4年制の中高等学校。1990年に遠距離教育センターとして始まったが、1999年に中高等学校に変更された。年間予算は約120万マラウイクワチャ(約90万円)。各学年1クラスずつで、総生徒数は約250名。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 中高等学校における理数科専門教師不足に対処するため質のよい理数科授業の提供が期待されている。 また、現在JICA支援のもと、教育省はこれまで行われていなかった全国での現職理数科教員の研修が定期的に行われるための取り組み(現職理数科教員再訓練: Strengthening of Mathematics and Science in Secondary Education (SMASSE))を開始しており、その一環として学校群(7校程度)単位で行う教員研修会に協力することも期待されている。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 配属校において、主に物理・化学を週10ピリオド程度担当する。 2. SMASSEの一環として、以下の活動を通じて学校群内の理数科教育向上を目指す。 学校群内の他校を定期的に訪問し、同教科の現地教師を授業準備、授業を通してサポートする。 学校群レベル、学校レベルでの教員研修会の実施を教科技術的にサポートする。(研究授業など) 毎学期後に教育行政区事務所に学校群の研修状況を報告する。 年1回のSMASSE研修(2週間)に同僚理数科教師と共に参加し、その後の学校巡回時などの参考にする。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 小学校程度の基本的な実験器具及び薬品。		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長 男性 40歳代(物理化学担当) 全教師数14名中、5名が理数科目担当。 全生徒数約250名(14~20歳、日本の中学及び高校レベル)。	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (チェワ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (√:) □ (√:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	学歴 大卒 理系	学歴理由: 中高等学校教員は大卒が資格条件のため。
		経験理由:
	理由:	
	理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
● 有 ○ 無 ○ 車輦 ○ 単車 ● 自転車	a	P	x

地域内の学校を巡回するため			
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)			
* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)			
概地況	気候(サバンナ) 気温(10-30℃位)	電気(□安定 ☑不安定 □なし)	
電話(□インターネット可 ☑通話可 ☑不良 □なし)		水道(□安定 □不安定 ☑なし)	

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 20 年 8 月 27 日

調査者名:内蘭 清

要請番号(JL 524 - 09- B - 39)

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
マラウイ	職種 理数科教師 (コード 6901)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ 月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	22 / 1	年 月 から
	職種(英) Science & Mathematics Education			2	22 / 2	
指導科目(英)	3	22 / 3				

プログラム番号・名
中等理数科の質向上プログラム

プロジェクト名

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 教育科学技術省 (受入機関名)(英語) Ministry of education, Science and Technology
	2)配属先名 (日本語) ンサナマ中高等学校 (英語) Nsanama Community Day Secondary School
	3)任地 ンサナマ 首都(リロングウェ)から 南東 方向 230 Km 主要都市(バラカ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 日本の中学3年生から高校3年生に相当する4年生の中高等学校。1996年に遠距離教育センターとして設立されたが、2000年に中高等学校に変更された。年間予算は約70万マラウイクワチャ(約55万円)。各学年1クラスずつで、総生徒数は約260名。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 中高等学校における理数科専門教師不足に対処するため質のよい理数科授業の提供が期待されている。 また、現在JICA支援のもと、教育省はこれまで行われていなかった全国での現職理数科教員の研修が定期的に行われるための取り組み(現職理数科教員再訓練: Strengthening of Mathematics and Science in Secondary Education (SMASSE))を開始しており、その一環として学校群(7校程度)単位で行う教員研修会に協力することも期待されている。		
	2)期待される具体的業務内容 1. 配属校において、主に生物を週10ピリオド程度担当する。 2. SMASSEの一環として、以下の活動を通じて学校群内の理数科教育向上を目指す。 学校群内の他校を定期的に訪問し、同教科の現地教師を授業準備、授業を通してサポートする。 学校群レベル、学校レベルでの教員研修会の実施を教科技術的にサポートする。(研究授業など) 毎学期後に教育行政区事務所に学校群の研修状況を報告する。 年1回のSMASSE研修(2週間)に同僚理数科教師と共に参加し、その後の学校巡回時などの参考にする。		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 小学校程度の基本的な実験器具および薬品		
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 全教師数9名中、3名が理数科担当。女性教員は2名。 全校生徒数約260名(15~20歳、日本の中学及び高校レベル)。	5)業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (チェワ語)	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	学歴理由: 大卒 理系	理由: 中高等学校教員は大卒が資格条件のため。
	経験理由:	理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車	a	P	x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(サバンナ) 気温(10-30 ℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
況域 電話(□インターネット可 ☑通話可 ☑不良 □なし) 水道(□安定 □不安定 ☑なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 8 月 10 日

要請番号(JL 527 - 09 - B - 06)

調査者名: 白田 貴史

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ナミビア	職種 理数科教師 指導科目	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	22 / 3
	3			/	
				年	月
				から	

プログラム番号・名 初等・中等教育の向上
 プロジェクト名

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) オシャナ州オングウェディバ教員訓練所 (英語) Oshana Regional Education Office, Teachers Resource Centre
	3) 任地 オシャナ州オングウェディバ 首都(ヴイントフック)から 北 方向 700 Km 主要都市(オンヤカティ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) オシャナ州教育事務所は同州全域の教育関係事業本部で、州内約130の学校を統括しており、年間予算はUS\$22,000,000程度。隊員はオングウェディバの同事務所直属の教員訓練所(Teachers Resource Centre)に配属。同校は、現職教員の研修、各学校教育現場への巡回指導など、学校教育の充実に向けて多岐にわたる支援を行っている。欧米からのボランティアが活動中。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 独立後間もない当国の国家開発を考える上で、将来を担う世代への基礎教育、特に理数科教育の充実は不可欠と考えられ、国家的教育指針としても技術系分野に重点が置かれているものの、当国基礎教育における最大の問題は理数科系教員の数量的不足及び質的貧弱であり、これの克服に向けた教員養成を担える適当な人材確保も困難である。本件要請は、このような状況の改善に向けて当面の人材難を隊員によって補完すると共に、協働作業を通じて現地人材の育成を図ることを目的としている。		
	2) 期待される具体的業務内容 ・中高校生への電気・電子・エネルギーに関する基礎的技術教育に対する巡回指導。 ・学校教育現場への巡回指導による現地教員への助言・提案・授業補助など。 ・学校教育現場へのコンピューターの利用の導入。(テスト作成、成績管理、データ管理、プレゼン資料作成補助等)		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コンピュータ(インターネットへのアクセス可能)、スキャナー等		
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長は50歳代、大卒 訓練指導教員及び同僚教員 16名程度、20~50歳程度、高卒~大卒 技術関係教科主任、40歳代	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由		

性別理由:	
・学歴 大卒 理系	学歴理由: 教員に対する指導が求められるため
・経験 実務経験 5年以上	経験理由: 教員に対する指導が求められるため
理由:	
理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修, A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト, N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能, x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況 気候(サバンナ気候) 気温(10~45℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 水道(☑安定 □不安定 □なし)
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 8 月 10 日

要請番号(JL 527 - 09 - B - 07)

調査者名: 白田 貴史

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ナミビア	職種 理数科教師	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 3
	指導科目			2	/
	職種(英) Science & Mathematics Education			3	/
	指導科目(英)				年 月 から

プログラム番号・名 5270000000008 プロジェクト名 基礎教育改善

1) 受入省庁名(日本語) 教育省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Education

2) 配属先名 (日本語) ルアカナ上級職業中学校
 (英語) Ruacana Vocational Senior Secondary School

3) 任地 オムサティ州ルアカナ
 首都(ヴイントフック)から 北 方向 860 Km
 主要都市(オンヤカティ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 2 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 同国北西端に位置し、Grade 8~12(日本の中~高に相当)の生徒を対象とした一部寮制男女共学公立中学校。生徒数 570名程度(男女比ほぼ半々)で寮生510名程度。教員数23名で25から50歳程度。
 年間予算額 N\$166,800 (US\$27,800)程度。外国援助としてはJOCV隊員2名(理数科教師)配属のみ。(うち一名は2009年 9月まで活動中)

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 1990年の独立以降、国造りの基礎として国民教育、特に次世代を担う若年層の基礎教育に重点が置かれており、特に理数科教育の充実は不可欠と考えられるが、絶対的な人材難から良質な教員確保がままならないのが実情といえる。本件要請は、隊員配属によりこの状況を打開し、教育手法の改善、教員の質的向上に資すると共に、日本という馴染みのない異文化に接する機会・刺激を得ることを目的とする。

2) 期待される具体的業務内容
 ・同校 Grade 8~12 (日本の中高レベル)の生徒を対象に同校教師の一員として授業を担当。
 ・受け持つクラス・単元数などについては、赴任時期・赴任時の同校事情などにより、隊員・学校間の協議に基づいてフレキシブルに決定される。
 ・Word、Excel など基本的PC操作・活用方法についての生徒・教職員への指導・助言なども求められる。
 ・スポーツ・文化クラブ活動など課外活動も期待される。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 教材一式。PC教室、PC30台、PC周辺機器若干。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 配属先スタッフ: 上述教員、高卒~大卒程度。 指導対象者: Grade 8 ~ 12 の生徒。	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル:) <input type="checkbox"/> (レベル:)
--	-----------------------------------	---

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別	男性	性別理由: 配属先提供住居事情による。
学歴	大卒 理系	学歴理由: 同僚現地教員との学歴バランスによる。
経験	指導経験 2年以上	経験理由: 教師として求められるレベルが高い。
理由:		
理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			X

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(乾燥高原サバンナ気候) 気温(10~40 ℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 8 月 7 日

要請番号(JL 539 - 09 - B - 06)

調査者名: 市川勝洋

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
南アフリ カ共和国	職種 理数科教師 指導科目	○新規 ●交替 3 代目	●2年	1	22 / 3
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)		○1年	2	/
			○ヶ月	3	/

プログラム番号・名 5390000000002 プロジェクト名 FET技術教員育成プロジェクト
 優先的技術・職能人材育成プログラム

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) ムプマランガ州教育省 (受入機関名)(英語) Mpmalanga Department of Education
	2)配属先名 (日本語) エシヤンゼニ訓練校 (ムルマティ・キャンパス) (英語) Ehlanzeni FET College(Mlumati Campus)
	3)任地 マレラネ地区カムスシュワ 首都(プレトリア)から 東 方向 500 Km 主要都市(ネルスピット)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) エシヤンゼニ地域にある高等教育訓練カレッジ7キャンパスのうちの一つ。同カレッジにはビジネス科と職業訓練部門を含む電気、機械、建築等のエンジニアリング科があり、学生数約900、教員数約20、年間予算は約4000万円。現在各キャンパスにおいて、校舎、寮等の施設の改築が進められており、設備だけでなくカリキュラム、教師等の質向上にも努めている。H18年からJOCVを派遣しており現在6隊員派遣中。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 南アフリカでは技術者育成教育が重点課題の一つとなっているが、アパルトヘイト下で十分な教育を受けてこなかった教員が多く、またアパルトヘイト後、他国への技術者の流出が深刻な問題となっている。配属先はカレッジ内で唯一職業訓練部門を持つキャンパスだが、高い技能や知識をもつ教員数が不足しており、知識不足のため教科書を写すだけの授業を行う教員も少なくない。教員との意見交換を通しての教員の技術向上を目的に隊員が要請されている。同校には現在6名のJOCVが派遣されており、それぞれの分野で活動し、配属先からの評価も高く引き続いての要請となった。		
	2)期待される具体的業務内容 基礎学力の乏しい学生に対して、より理解しやすい授業を行い、学生の数学レベルが向上するための下記の協力を行うと共に、実際に数学の授業を担当する。 1.教員と協働した、授業準備 2.副教材などの補助教材の作成補助 3.教員同士の授業、教材にかかる意見交換、情報提供 4.試験監督、採点 5.その他配属先から依頼される関連業務		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教科書、教室や黒板等カレッジの施設		
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚:エンジニアリング科の数学講師3名、男2女1、20代後~50代 学生:15~30歳位、基礎学力に欠ける	5)業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 ()	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	・性別 男性	性別理由: 治安上
	・学歴 大卒 理系	学歴理由: 同僚と同様またはそれ以上
	・経歴 指導経験 2年以上	経歴理由: 単独の授業も行うため
	理由:	
	理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
 概地 気候(温暖) 気温(13~40℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 8 月 11 日

要請番号(JL 545 - 09- B - 25)

調査者名: 中曾根 徹治

国名	職種/指導科目	・区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ウガンダ	職種 理数科教師 (コード 6901)	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	22 / 1	年 月 から
	職種(英) Science & Mathematics Education			2	22 / 2	
指導科目(英)	3	22 / 3				

プログラム番号・名 545000000014 プロジェクト名
 中等理数科教育強化

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education and Sports
	2) 配属先名 (日本語) キソコ中学校 (英語) Kisoko High School
	3) 任地 トロロ県キソコ 首都(カンバラ)から 東 方向 210 Km 主要都市(トロロ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 当国の中等学校(セカンダリースクール)は7年制の小学校を卒業した学生を受け入れており、6年制。日本の中学校と高校を合わせた学校にあたる。1年生~4年生のO(ordinary)レベルと5~6年生のA(advance)レベルに分かれている。同校は教師数47名、生徒数720名、0・A両レベル、寮制、共学。年間予算は約350,000ドル。周辺地域における中核校であり、人材・設備共に比較的充実している。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 当国に対する「中等理数科教育強化プログラム」の一環として、中等学校における理数科教育の資質向上への貢献を目的としており、2007年9月に初代JOCVが派遣された。同校の教育水準は他の周辺校と比べ概して高く生徒の学習意欲もきわめて高い。しかし同校の課題としてそれらが学習成績に結びついていない現状にある。前任者の活動内容として農業科を中心とした学習の効率化、新指導法の提案が行われたが、今後も他の理数教科に対し継続的な支援が必要であり、単純な人材補填の教科指導に留まらず充実した人材・設備を有効に活用した総合的な学力向上対策の実施継続が期待され本要請がなされた。

2) 期待される具体的業務内容
 1. 理数科教師として理数科(数学・物理・化学・生物・農業のいずれかの得意科目)、またはコンピュータの授業を受け持つ。
 2. 施設設備を有効に活用した実験実習型授業を行う。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 一般教具、実験教材(ガラス器具類、アナログ式計器類、一般試薬)、理科実験室(電気あり、水道なし)、コンピュータ40台(Windows Me) 自家発電施設(学期中停電時)

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 理数教科担当の教員数16名(4名は商業科兼任)25~45歳。生徒の年齢は13歳から20歳程度。	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
---	-----------------------------------	--

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
	・教諭免許 中高・理数	学歴理由:
	・経験 実務経験 3年以上	経験理由: 教壇に立つため
		理由:
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(亜熱帯) 気温(15-30℃位)	電気(□安定 ☑不安定 □なし)
	電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 8 月 11 日

要請番号(JL 545 - 09 - B - 26)

調査者名: 椎谷 健一

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ウガンダ	職種 理数科教師 指導科目	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	22 / 2
				3	22 / 3
				年	月
				から	から

プログラム番号・名 5450000000014 プロジェクト名
 中等理数科教育強化

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育スポーツ省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education and Sports
	2) 配属先名 (日本語) ブカラサマイナーセミナリー (英語) Bukalasa Minor Seminary
	3) 任地 マサカ県ブカラサ 首都(カンパラ)から 南西 方向 160 Km 主要都市(マサカタウン)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ウガンダの中等学校(セカンダリースクール)は6年制で、7年制の小学校を卒業した学生を受け入れている。日本の中学校と高校を合わせた学校にあたる。同校の生徒は280名、男子私立校。牧師を養成するための機関として、1893年に設立されたウガンダの中でも最も歴史のある中等教育施設の一つで、各国の宗教団体からの寄付・支援によって非営利の学校運営がなされている。年間予算は約187,500米ドル。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 対ウガンダ国JICA国別事業実施計画案には、教育プログラムの一つとして「中等理数科教育強化プログラム」が設定されている。理数科の資質向上への貢献を目的とされており、本件JOCVの派遣も同プログラムの投入の一つとして位置付けられる。ウガンダ政府は近年小学校教育に力を入れており、小学校への実就学率は約90%となってきた。今後、小学校教育を終えた生徒が増えていくが、政府の中等学校への支援は最低限のレベルとなっており、生徒の理数科レベルは概して低い。理数科教師不足を補い、実験を取り入れた実践的な理数科教育のレベルアップを図るため本要請がなされた。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 物理・化学・生物・数学のうち、得意な科目を担当し授業を行なう。 2. 理科科目を担当する場合、理科実験室の活用・器材の維持管理を行なう。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教科書、理科実験室、理科実験器材、教室		
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教員28名、学校職員25名 生徒280名(日本の中学2年~高校3年に相当) 司祭や牧師など宗教関係者	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (ガンダ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) ☐ (レベル:)

条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
・教諭免許 中高・理	学歴理由:
	経歴理由:
	理由:
	理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
 概地 気候(亜熱帯) 気温(10-30℃位) 電気(☐安定 ☑不安定 ☐なし)
 況域 電話()インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☐安定 ☑不安定 ☐なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21年 8月 11日

要請番号(JL 545 - 09- B - 27)

調査者名: 中曾根 徹治

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ウガンダ	職種 理数科教師 指導科目	○ 新規 ● 交替 2 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	22 / 1
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	22 / 2
				3	22 / 3
				年 月	から

プログラム番号・名 545000000014 プロジェクト名
 中等理数科教育強化

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education and Sports
	2) 配属先名 (日本語) カンジュチ中学校 (英語) Kanjuki Secondary School
	3) 任地 カンガバ県カンジュチ 首都(カンバラ)から 北西 方向 75 Km 主要都市(カンバラ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 指導対象は7年制の小学校を卒業した生徒であり、日本の中学校と高校を合わせた学校【生徒数1200名(女子600名、教員数40名)にあたる。ウガンダでは通常セカンダリースクール(中等学校)と呼ばれる6年制の学校である。カンガバ県でも三本の指に入る程度の比較的優秀校。1クラス70名~80名の80%が寮生活を行なっている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ウガンダの協力プログラムの一つとして「初等後教育強化プログラム」が設定され、サブプログラムとして「中等理数科教育強化」が位置づけられている。詰め込み主義で暗記中心の教育が主流であるウガンダの中等教育における理数科のレベルアップを図るために本要請がなされた。前任者は週80分授業9コマ(物理・数学)、1年生、2年生を担当。活動中にコンピューターラボを設営し、コンピューターの授業なども行うと共に、サッカーなどの課外活動にも積極的に取り組んだ。比較的自由に活動できる環境であり、カウンタパートは青年招聘プログラムにて日本に来日している。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 理数科教師として学校にて理数科目のうち得意とすつ授業を受け持つ。(1年・2年生) 2. 理科実験室の設備・実験器具等も限られていることから、実験も取り入れた工夫した授業を行う。 3. PCの知識があれば、コンピューターを使用し、メンテナンスや基本ソフト(ワード、エクセル)の授業を受け持つ。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ・保存状態は良くないが、一通りの実験道具は揃っている。 ・コンピューター30台(OS: WindowsXP, 2000中心)		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教師(パート含)40名、理科・数学教師6名 理数科教師は年齢層が高い(40-50代)	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由
	・教諭免許 中・理数 ・性別 男性 性別理由: 住居環境がやや厳しいため
	・学歴 大卒 学歴理由: 教室型のため
	経験理由: 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(亜熱帯) 気温(15-25℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input checked="" type="checkbox"/> なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 2 日

要請番号(JL 548 - 09 - B - 34)

調査者名: 傍嶋 健

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
タンザニア	職種 理数科教師	○新規	◎2年	1	22 / 1	
	指導科目			◎交替	2	22 / 3
	職種(英) Science & Mathematics Education				○ヶ月	3
ア	指導科目(英)	2代目				年 月 から

プログラム番号・名 5480000000006 プロジェクト名

教育のアクセス向上及び質の向上支援プログラム

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 教育職業訓練省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education and Vocational Training
	2) 配属先名 (日本語) キゴンセラ中等学校 (英語) Kigonsera Secondary School
	3) 任地 ルブマ州キゴンセラ 首都(ダルエスサラーム)から 南西 方向 650 Km 主要都市(ソンゲア)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ルブマ州村落部に位置する同校は、0レベル(中学2年~高校2年程度)とAレベル(高校3年~大学教養課程程度)併設の公立中等学校で、2009年度の生徒数は約950名、全教員数は19名、他国ボランティアの受入実績は近年はなし。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当国では中等教育の拡充及び改善を目的に、2004年7月から中等教育開発計画(SEDIP)が実施され、生徒の学校へのアクセス向上を図るため、中等学校新設が各地で進められた。しかし教員待遇の低さや教員養成校の容量不足から現職の教師不足が問題化しており、同時に教育現場の質の低下も懸念されている。また、大卒を資格条件とする高校教師、特に理系の教師不足は深刻である。この様な状況下、生徒に質の高い授業提供を目的として、隊員要請が出された。		
	2) 期待される具体的業務内容 中等学校生徒が質の高い授業を受けることができ、理数科目における基礎力の向上が期待される。 具体的な活動は、以下のとおり。 1. Form 3(高校1年生程度に相当)の生徒に対し物理授業を担当する。 2. Form 5(高校3年生程度に相当)の生徒に対し数学授業を担当する。 3. JOCVの得意な分野で、課外活動等も期待されている。 4. 教師間の持ち回りで行われている、生徒生活指導を定期的に担当する可能性がある。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教室・黒板・机・椅子等・実験室(一般的な教材は期待出来ず)		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長(男性1名、校長、40歳代) 理系教師(男性5名、20-30歳代程度)	5) 業務使用言語 ◎ 英語 () ○ スワヒリ語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	性別理由:		
	学歴 大卒 理系	学歴理由: 配属先の要請	
	経験理由:	理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(内陸性気候) 気温(10~30℃位) 電気(□安定 □不安定 ☑なし)
電話()インターネット可	☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21年 6月 30日

要請番号(JL 548 - 09 - B - 35)

調査者名: 五味香代子

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
タンザニア	職種 理数科教師 指導科目	○新規 ●交替 5代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	22 / 3
				3	/

プログラム番号・名 5480000000006 プロジェクト名
 教育のアクセス向上及び質の向上支援プログラム

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 教育職業訓練省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education and Vocational Training
	2) 配属先名 (日本語) マサン女子中等学校 (英語) Masasi Girl's Secondary School
	3) 任地 ムトワラ州マサン 首都(ダルエスサラーム)から 南 方向 440 Km 主要都市(ムトワラ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 6 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ムトワラ州地方都市に位置する0レベル(中学2年~高校2年程度)とAレベル(高校3年~大学教養課程程度)併設の政府系中等学校(女子高/全寮制)。生徒数700名(0レベル500名、Aレベル200名)、教師数17名で、年間予算は約350万円。現在、中高併設校からAレベル校に移行中で、2012年には全校生徒Aレベルとなる。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) タンザニアでは中等教育の拡充及び改善を目的に、中等学校の新設が各地で進められてきた。しかし、教員の待遇の低さや教員養成校のキャパシティ不足から、教師不足は深刻化しており、同時に教育の質の低下も懸念されている。そのため、教師不足が特に深刻な当国南東部にJOCVを派遣することにより中等学校の教師不足を補完しており、また教育技術向上のためのセミナーへの隊員の参加等を通じて、現地教師と共に教育の質の向上を図っている。前任者は0レベルの生物・化学を担当しており、配属先の教師不足は今だ解消されていないことから後任の要請に至った。		
	2) 期待される具体的業務内容 生徒が質の高い授業を受ける事ができ、理数科目の基礎力向上が期待される。具体的な活動は次の通り。 1. JOCV赴任当初は、0レベル(日本の中学2年~高校2年程度)の生徒に対して、数学・及びその他理数科目(物理・化学・生物等)の授業を週12~30ピリオド担当する。(1ピリオド40分) 2. JOCVが活動現場に慣れた後、Aレベル(日本の高校3年~大学教養課程程度)に対し数学およびその他理数科目の中で指導可能な授業科目の授業を担当する。 3. JOCVの得意な分野で、課外活動等も期待されている。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 生物実験室(顕微鏡、標本等) 化学物理実験室(薬品、秤等)		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 理数科教師3名(20~40歳代) 化学/生物担当 1名 数学/地理担当 1名 生物/家庭担当 1名	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ スワヒリ語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	性別理由:		
	学歴理由:	学歴 大卒 理系	
	経験理由:		
	理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
 概地 気候(内陸性気候) 気温(20-35℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
 況域 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21年 7月 16日

要請番号(JL 548 - 09 - B - 36)

調査者名: 傍嶋 健

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
タンザニア	職種 理数科教師 (コード 6901)	○新規 ●交替 5代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	22 / 1	年 月 から
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	22 / 3	
		3	/			

プログラム番号・名 5480000000006 プロジェクト名
 教育のアクセス向上及び質の向上支援プログラム

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 教育職業訓練省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education and Vocational Training
	2) 配属先名 (日本語) ソンゲア男子中等学校 (英語) Songea Boys Secondary School
	3) 任地 ルブマ州ソンゲア 首都(ダルエスサラーム)から 南西 方向 600 Km 主要都市(ソンゲア)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1950年設立。ルブマ州、リンディ州、ムトワラ州の南部3州の中で、最も歴史のある政府校である。男子のみの Ordinaryレベル(中学2年~高校2年)とAdvancedレベル(高校3年~大学教養課程)の併設校で、全寮制。生徒数は現在約900名、教師数は33名、うちAレベル理数科教師は3名(物理、化学、数学とも各1名)。年間予算は380万円。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国では、Aレベル教師は大卒もしくはAレベル終了後に教員養成校で教員免許を取得した者に限られるため、慢性的な教師不足が深刻な問題である。Aレベルの理数科教師不足と外国人教師による学校の活性化を目的としてJOCVが派遣され、過去3代の活動が高く評価されている。2008年11月より活動中のJOCVは生物を担当しており、後任としてのJOCVが要請された。		
	2) 期待される具体的業務内容 生徒が質の高い授業を受けることができ、理数科目における基礎力の向上が期待される。具体的な活動は下記の通り。 1. Aレベル(高校3年~大学教養課程)の理数科教師として、物理・生物・数学のうち教授可能な科目を週24ピリオド程度担当する。(1ピリオドは40分間) 2. 学校の業務当番(Teacher's on duty)や、スポーツ等課外授業も期待されている。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 実験器具等(歴史のある学校であり、蓄積された実験器具等は他校に比べて恵まれている)		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層) 及び指導対象者の技術レベル 指導対象者: Form5、6の男子生徒(主に18~20歳)	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ スワヒリ語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	学歴 大卒 理系	学歴理由: 配属先の要望
	経歴理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
 概地域 気候(内陸性気候) 気温(15-30℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 16 日

要請番号(JL 548 - 09 - B - 37)

調査者名: 若林昌広

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
タンザニア	職種 理数科教師 指導科目	◎新規 ○交替 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	22 / 3
				3	/
					年 月 日 から

プログラム番号・名 5480000000006 プロジェクト名
 教育のアクセス向上及び質の向上支援プログラム

配属概要	1) 受入省庁名(日本語) 教育職業訓練省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education and Vocational Training
	2) 配属先名 (日本語) キルワ中等学校 (英語) kilwa Secondary School
	3) 任地 リンディ州リンディ県キルワ 首都(ダルエスサラーム)から 南 方向 300 Km 主要都市(リンディ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 4 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1986年にコミュニティによって設立されたこの地域のパイオニア的の中学である。同時期設立のパイオニア校には、ムトワラ州のサバサバ中学(現在JOCV派遣中)がある。現在、Form 1からForm 4(日本の中学2年程度から高校2年程度に相当)まで各4クラスで計580人の生徒がいる。2009年にオランダのNGOのUKENGEE Foundationにより、20台のPC、PC用ソーラー設備が寄贈された。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) タンザニアではより多くの子供たちに教育の機会を提供するため、中等学校の新設が各地で進められている。しかし、教師不足が深刻化しており、教育の質の低下が懸念されている。その結果、理数科教育の質の低下がまた理数科教師の不足を招くと言う悪循環に陥っている。この学校は地域の中核的の中学であるため、昨今の近隣地域での中学校の新設の度に教師がそちらに転勤し、その補充がされないため、現在校長を含め、7名の教師しかいない。理数科の教師は不在である。一刻も早いJOCVの赴任が期待されている。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 生徒に対する理数科教科の指導 2. 実験室、実験器具の保守整備 3. PC初心者である生徒および多少PC経験のある教師に対し、可能な範囲でPCの利用・活用法についての助言を行うことも期待されている。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教室、実験室(物理と化学)、実験器具。		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長、教師6名。	5) 業務使用言語 ◎ 英語 () ○ スワヒリ語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) ☐ (レベル:)

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	性別理由:		
	学歴理由: 配属先の要請		
	経験理由: 理由: 理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況 気候(海岸性気候) 気温(20~35℃位) 電気(☐安定 ☑不安定 ☐なし)
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☐安定 ☑不安定 ☐なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21年 7月 16日

要請番号(JL 548 - 09 - B - 38)

調査者名:堤 智子

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
タンザニア	職種 理数科教師 指導科目	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	22 / 1
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	22 / 3
			3	/	年 月 日から

プログラム番号・名 5480000000006 プロジェクト名
 教育のアクセス向上及び質の向上支援プログラム

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 教育職業訓練省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education and Vocational Training
	2) 配属先名 (日本語) ロンドーニ中等学校 (英語) Londoni Secondary School
	3) 任地 ルブマ州ソングア 首都(ダルエスサラーム)から 南西 方向 600 Km 主要都市(ソングア)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 地域住民によって2004年に建設されたコミュニティ校。中学校から高校程度の教育が受けられる。 2009年7月現在、生徒数782名、教師数23名である。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) タンザニアではより多くの子どもたちに教育の機会を提供するため、中等学校の新設が各地で進められている。しかし教師不足は深刻化しており、質の低下も懸念されている。特に中等学校生徒の理数科分野の学力低下が著しく、地方の学校では十分な理数科教師を確保することができないのが現状である。理数科教師の質と量の低下を補い、理数科を好きになる生徒を増やしたいという目的で、同校よりJOCVが要請された。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 理数科分野のうち隊員の得意な教科を生徒に指導する。 2. 生徒が理数科分野の勉強を好きになるよう工夫した授業を行う。 3. 理数科分野の教師へ助言を行う。 4. タンザニアのJOCV(教育関連)が組織するタンザニア教育研究会に所属し、ワークショップ実施や情報共有を行う。 5. ロンドーニ地域で2008年9月より活動中のJOCV(感染症対策)とともに保健衛生関連の授業を学校で行えるよう環境を整備する。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教師用教材、黒板、チョーク、机、椅子		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教員 20~50歳代 23名	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ スワヒリ語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	学歴 大卒 理系	学歴理由: 学校側からの要望
	経験理由:	理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域	気候(内陸性気候) 気温(15~30℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
状況	電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21年 7月 16日

調査者名:堤 智子

要請番号(JL 548 - 09 - B - 39)

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
タンザニア	職種 理数科教師 (コード 6901) 指導科目	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1
	2			22 / 3	
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			3	/

プログラム番号・名 5480000000006 プロジェクト名
 教育のアクセス向上及び質の向上支援プログラム

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 教育職業訓練省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education and Vocational Training
	2) 配属先名 (日本語) ウェンデ中等学校 (英語) Wende Secondary School
	3) 任地 イリンガ州ンジョンベ 首都(ダルエスサラーム)から 南西 方向 750 Km 主要都市(ンジョンベ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ンジョンベ県内の退職した教師たちが、公立校の数が足りず学校に行けない子どもが増えているという問題を解決しようと、資金を集めて山間部に建設した私立中等学校。中学から高校2年程度の教育が受けられる。 2009年7月現在、生徒数500名、教師数20名。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) タンザニアではより多くの子どもたちに教育の機会を提供するため、中等学校の新設が各地で進められている。しかし教師不足は深刻化しており、質の低下も懸念されている。特に中等学校生徒の理数科分野の学力低下が著しく、地方の学校では十分な理数科教師を確保することができないのが現状である。理数科教師の質と量の低下を補い、理数科を好きになる生徒を増やしたいという目的で、同校よりJOCVが要請された。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 理数科分野のうちJOCVの得意な教科を生徒に指導する。 2. 生徒が理数科分野の勉強を好きになるよう工夫した授業を行う。 3. 理数科分野の教師へ助言を行う。 4. 教員対象に、コンピューターの使い方を教える。 5. タンザニアのJOCV(教育関連)が組織するタンザニア教育研究会に所属し、ワークショップ実施や情報共有を行う。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教師用教材、黒板、チョーク、机、椅子		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 理数科分野教員 20~50歳代 6名	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ スワヒリ語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (V^N:) □ (V^N:)

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	学歴 大卒 理系	学歴理由: 学校側からの要望
		経験理由:
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
 概地 気候(内陸性気候) 気温(5~35℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
 況域 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 16 日

要請番号(JL 548 - 09 - B - 40)

調査者名: 堤 智子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
タンザニア	職種 理数科教師 (コード 6901)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	22 / 1	年 月 から
	職種(英) Science & Mathematics Education			2	22 / 3	
指導科目(英)	3	/				

プログラム番号・名 5480000000006 プロジェクト名
 教育のアクセス向上及び質の向上支援プログラム

配属概要	1) 受入省庁名(日本語) 教育職業訓練省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education and Vocational Training
	2) 配属先名 (日本語) ムウェンベトグワ中等学校 (英語) Mwenbetogwa Secondary School
	3) 任地 イリंगा州イリंगा 首都(ダルエスサラーム)から 西 方向 420 Km 主要都市(イリंगा)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) イリंगा市内にある中等学校。大学教養課程レベルまでの教育が受けられる。 2009年7月現在、生徒数2000名、教師数40名。年間予算は500万円。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) タンザニアではより多くの子どもたちに教育の機会を提供するため、中等学校の新設が各地で進められている。しかし教師不足は深刻化しており、質の低下も懸念されている。特に中等学校生徒の理数科分野の学力低下が著しく、地方の学校では理数科教師を確保することが困難な状態である。同校では特に生物学分野の教員が不足しており、それを補うため、そして教育の質を向上させ、生物学を好きになる生徒を増やすために隊員が要請された。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 生物学の授業を実施する。対象学年は同僚教師と相談して決める。 2. 生徒が生物学分野の勉強を好きになるよう工夫した授業を行う。 3. 理数科分野の教師へ助言を行う。 4. スポーツなどの課外授業への参加も望まれる。 5. 同校に赴任予定のJOCV(化学)と連携した活動を行う。 6. タンザニアのJOCV(教育関連)が組織するタンザニア教育研究会に所属し、ワークショップ実施や情報共有を行う。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教師用教材、黒板、チョーク、机、椅子、簡単な実験用機材		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 理数科分野教員 20~50歳代 12名	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ スワヒリ語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (ハル:) ☐ (ハル:)

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	学歴 大卒 理系	学歴理由: 学校側からの要望
		経験理由:
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車	a		x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
 概地 気候(内陸性気候) 気温(10-30℃位) 電気(☐安定 ☑不安定 ☐なし)
 況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☐安定 ☑不安定 ☐なし)



事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 16 日

要請番号(JL 548 - 09 - B - 41)	調査者名: 堤 智子
------------------------------	------------

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
タンザニア	職種 理数科教師	◎新規 ○交替 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1
	指導科目			2	22 / 3
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			3	/

プログラム番号・名 5480000000006 プロジェクト名
 教育のアクセス向上及び質の向上支援プログラム

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 教育職業訓練省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education and Vocational Training
	2) 配属先名 (日本語) ムウェンベトグワ中等学校 (英語) Mwenbetogwa Secondary School
	3) 任地 イリंगा州イリंगा 首都(ダルエスサラーム)から 西 方向 420 Km 主要都市(イリंगा)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) イリंगा市内にある中等学校。大学教養課程レベルまでの教育が受けられる。 2009年7月現在、生徒数2000名、教師数40名。年間予算は500万円。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) タンザニアではより多くの子どもたちに教育の機会を提供するため、中等学校の新設が各地で進められている。しかし教師不足は深刻化しており、質の低下も懸念されている。特に中等学校生徒の理数科分野の学力低下が著しく、地方の学校では理数科教師を確保することが難しいのが現状である。同校では特に化学分野の教員が不足しており、それを補うため、そして教育の質を向上させ、化学を好きになる生徒を増やすためにJOCVが要請された。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. 化学の授業を実施する。対象学年は同僚教師と相談して決める。 2. 生徒が化学分野の勉強を好きになるよう工夫した授業を行う。 3. 理数科分野の教師へ助言を行う。 4. スポーツなどの課外授業への参加も望まれる。 5. 同校に赴任予定のJOCV(生物)と連携した活動を行う。 6. タンザニアのJOCV(教育関連)が組織するタンザニア教育研究会に所属し、ワークショップ実施や情報共有を行う。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教師用教材、黒板、チョーク、机、椅子、簡単な実験用機材	

要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 理数科分野教員 20~50歳代 12名	5) 業務使用言語 ◎ 英語 () ○ スワヒリ語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
---	---	--	--

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由
	性別理由: _____
	学歴理由: 学校側からの要望
	経歴理由: _____

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車	a		x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
 概況 気候(内陸性気候) 気温(10-30℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
 地域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 []不良 []なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 13 日

要請番号 (JL 548 - 09 - B - 42)	調査者名: 傍嶋 健
-------------------------------	------------

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
タンザニア	職種 理数科教師 (コード 6901) 指導科目	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			1 22 / 3	年 月 日
				2 /	から
				3 /	

プログラム番号・名 5480000000006 プロジェクト名 教育のアクセス向上及び質の向上支援プログラム

1) 受入省庁名(日本語) 教育職業訓練省(ザンジバル政府)
 (受入機関名)(英語) Ministry of Education and Vocational Training(Zanzibar Government)

2) 配属先名 (日本語) ルムンバ中等学校
 (英語) Lumumba Secondary School

3) 任地 ザンジバル(ウングジャ島)
 首都(ダルエスサラーム)から 北 方向 80 Km
 主要都市(ストーンタウン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.2 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 ストーンタウン(世界遺産都市)近郊に位置するOレベル(中学2年~高校2年)とAレベル(高校3年~大学教育課程程度)併設の政府系中等学校。生徒数857名、教師数42名で、午前中は公立校として運営され、午後は私立校として校舎が貸出される特殊な運営形態を持つ。米国ピースコー及び韓国ボランティア(現在、1名生物指導中)の受入経験あり。20年以上前にはJOCVも派遣されていた。年間予算は360万円程度。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 ザンジバルは本土と異なる教育制度を有しているが、2004年7月から中等教育開発計画(SEDIP)が実施され、生徒の学校へのアクセス向上を図る為、中等学校新設が各地で進められた。しかし教員待遇の低さや教員養成校の容量不足から教師不足が問題化している。特に理数科教師不足は深刻であり、生徒の理数科目における学力向上を目的としてJOCVの要請が上げられた。なお、校長は同校の卒業生で、当時派遣されていたJOCV、およびJICA本邦研修(広島・2007年)により日本の教育システムに感銘と影響を受けている。

2) 期待される具体的業務内容

- 生徒に対し、数学(5時間/週以上)・物理(5時間/週以上)の授業を担当する。
- 同僚教師に対し、既存の実験室を活用し、実験方法等の助言・指導を実施する。
- JOCVの得意な分野で、スポーツ指導等の課外授業も期待されている。

※担当学年及び、担当科目・授業数は、JOCV赴任後、配属先と協議して決める。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 実験室(4室)及び、実験機材。その他一般教材。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ・校長(男性、30歳代) ・同僚理数科教師(男性、30歳代、理系)	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ スワヒリ語 ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル:) <input type="checkbox"/> (レベル:)
--	--------------------------------------	---

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
 学歴理由: 配属先の提示条件
 学歴 大卒 理系
 経験理由: 配属先の要望
 経験 実務経験 2年以上
 理由:
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域 気候(海洋性気候) 気温(25-35℃位) 電気(□安定 不安定 □なし)
 電話(□インターネット可 通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21年 7月 14日

要請番号(JL 548 - 09 - B - 43)		調査者名: 傍嶋 健		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期 JOCV/SV 日系/短期等
タンザニア	職種 理数科教師 (コード 6901) 指導科目	◎新規 ○交替 代目	◎2年	1 22 / 3
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)		○1年	2 /
			○ヶ月	3 /
年 月 から				
プログラム番号・名 5480000000006 プロジェクト名 教育のアクセス向上及び質の向上支援プログラム				
配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 教育職業訓練省(ザンジバル政府) (受入機関名)(英語) Ministry of Education and Vocational Training(Zanzibar Government)			
	2) 配属先名 (日本語) ジャンゴンベ中等学校 (英語) Jang'ombe Secondary School			
	3) 任地 ザンジバル(ウングジャ島) 首都(ダルエスサラーム)から 北 方向 80 Km 主要都市(ストーンタウン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.2 時間)			
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ザンジバル最大都市のストーンタウン(世界遺産都市)近郊に位置する政府系中等学校(中学2年~高校2年生対象)。生徒数1402名、教師数54名で、生徒数に対して学校施設は比較的小規模で、生徒を、午前クラス(7:00-13:00)と午後クラス(13:00-18:00)の二つに分けて対応している。			
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ザンジバルは本土と異なる教育制度を有しているが、2004年7月から中等教育開発計画(SEDP)が実施され、生徒の学校へのアクセス向上を図る為、中等学校新設が各地で進められた。しかし教員待遇の低さや教員養成校の容量不足から教師不足が問題化している。特に理数科教師不足は深刻であり、生徒の理数科目における学力向上を目的としてJOCVの要請が上げられた。			
	2) 期待される具体的業務内容 1. 中学2年生~高校2年生程度の生徒に対し、数学・物理の授業を実施する。 2. 同僚教師(特に理数科担当)に対し、授業法及びクラスコントロール等について助言等を実施。 3. 数学・物理以外の理数科科目についても可能な範囲で授業実施が期待されている。 4. JOCVの得意分野で、スポーツ指導等の課外授業も期待されている。 ※ 担当科目及び、授業数は赴任後に配属先と協議。			
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 各種教材と言われているが、あまり期待出来ない。			
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ・校長(男性、50歳代) ・同僚教師(男性、30歳代、11年実務経験) ・同僚教師(男性、30歳代、13年実務経験)		5) 業務使用言語 ◎ 英語 () ○ スワヒリ語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 性別理由: 学歴 大卒 理系 学歴理由: 配属先の要望 経験理由: 理由: 理由:			
活動用交通手段の必要性		研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車				×
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)				
概地況域	気候(海洋性気候) 気温(25-35℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)		水道(□安定 ☑不安定 □なし)	
	電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)			

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 8 月 11 日

要請番号(JL 548 - 09 - B - 53)

調査者名: 小島 正行

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
タンザニア	職種 理数科教師 (コード 6901)	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1
	指導科目			2	22 / 3
	職種(英) Science & Mathematics Education			3	/
ア	指導科目(英)				年 月 日から

プログラム番号・名 プロジェクト名
 脆弱層のための質の高い教育の機会改善支援プログラム

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 教育職業訓練省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education and Vocational Training
	2) 配属先名 (日本語) アスコフ・アドリアン・ムコバ中等学校 (英語) Askofu Adrian Mkoba Secondary School
	3) 任地 モロゴロ州モロゴロ 首都(ダルエスサラーム)から 西 方向 180 Km 主要都市(モロゴロ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.6 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) モロゴロ州の州都モロゴロ郊外にある公立の共学校。 学校は0レベル(日本の中学2年~高校2年に相当)とAレベル(日本の高校3年~大学教養課程に相当)が併設されている。年間予算は約1000万円。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) タンザニアでは2004年7月から中等教育開発計画 (SEDP)が実施され、子ども達の学校へのアクセス向上を図るため、中等学校の新設が進められた。その結果、ここ数年で学校の数が急増したが教師数がそれに追いつかず、地方部を中心に深刻な教師不足が問題となっている。特に理数系科目では教師不足が顕著であり、理数系科目での教育の量・質の低下が懸念されている。同校は首都からも近く、国内でも比較的教師を確保しやすい環境にあるものの、特に理数系科目の教師を十分確保できていない状況から、今回JOCVの要請がなされた。		
	2) 期待される具体的業務内容 生徒に対する質の高い授業を提供することで、理数系科目の学力を向上させることが期待される。 1. 0レベルの学生に対して数学を受け持つ(受け持ち学年と時限数はその時の状況により異なる)。また教員の配置状況によっては物理・化学を受け持つ可能性もある。※0レベルの担当ではあるが、生徒のレベルは比較的高い。 2. 学校の業務当番やスポーツ担当などを受け持つことも期待されている。 3. 教室型JOCVが自主的に行っているワークショップや情報交換会への参加なども望まれる。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ・理数系教師: 5名 ・生徒: 15~20歳	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ スワヒリ語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	学歴 大卒 理系	学歴理由: 配属先からの提示条件
		経験理由:
	理由:	
	理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
 概地域 気候(内陸性気候) 気温(15~30℃位) 電気(☐安定 ☑不安定 ☐なし)
 状況 電話()インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☐安定 ☑不安定 ☐なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 8 月 11 日

要請番号(JL 548 - 09 - B - 54)

調査者名: 小島 正行

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
タンザニア	職種 理数科教師	○新規	●2年	1	22 / 1	
	指導科目			●交替	2	22 / 3
	職種(英) Science & Mathematics Education				3	/
ア	指導科目(英)	2 代目	○ ヶ月		年 月 から	

プログラム番号・名: 脆弱層のための質の高い教育の機会改善支援プログラム
 プロジェクト名: プロジェクト名

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 教育職業訓練省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education and Vocational Training
	2) 配属先名 (日本語) チュングトゥワ中等学校 (英語) Chiungutwa Secondary School
	3) 任地 ムトワラ州チュングトゥワ 首都(ダルエスサラーム)から 南 方向 450 Km 主要都市(ムトワラ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 7 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ムトワラ州にある2003年設立の共学校。0レベル(中学2年~高校2年に相当)が設置されている。 2008年7月現在の生徒数は約370名、教師数は8名である。 2008年2月より、JOCV(理数科教師)1名が活動中である。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) タンザニア政府は中等教育の向上を目指し、中等教育開発計画(SEDPI)を策定・実施し、国内の中等学校数は増加したが、それに伴う教員の確保が追いついておらず、中等学校での教師の質の低下が懸念されている。特に理数系科目の教師確保は難しく、地方の学校では十分な理数科教師を確保できないのが現状である。そのため地方部での理数科教育の質と量を確保し、それを向上させることを目的としてJOCVを派遣してきた。前任者は数学の授業を受け持ち状況の改善に取り組んでいるが、継続的な協力が必要なことから引き続きJOCVの要請がなされた。	
	2) 期待される具体的業務内容 同校の生徒に対する質の高い授業を提供することで、理数系科目における基礎学力を向上させることが期待される。また電気・水道のない任地のため、不便な環境を楽しめる生活力も求められる。 1. 0レベルの学生に対して、数学もしくは物理の授業を週20時限程度受け持つ。 (赴任時の教員配置状況によっては授業科目や時限数は変更する可能性もある) 2. 課外活動や学校の業務当番(Teacher's on duty)を受け持つことも期待されている。 3. 教室型JOCVが自主的に行っているワークショップや情報交換会への参加なども望まれる。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 理数科担当教師: 2名、JOCV1名 その他担当教師: 4名 生徒数: 約330名	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ スワヒリ語 ()

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由
	性別理由: _____
	学歴 大卒 理系 学歴理由: 高校レベルの理数系科目を教えるために必須
	経験理由: _____ 理由: _____ 理由: _____

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (●:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況 気候(内陸性気候) 気温(15~30℃位) 電気(☐安定 ☐不安定 ☑なし)
 電話(☐インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☐安定 ☐不安定 ☑なし)